（明治三十九年九月十日第三種郵便物認可）　大正五年八月六日　THE KEIJO NIPPO　第三千二百號　（一）

京城日報

五日夕刊

汽車時間表（七月十日改正）

[illegible]

○佛軍ヴェルダン進出

佛軍はヴェルダンを進出しフルールーに達したりとの報あり（倫敦電報）

○ヴェルダン佛軍の實力

獨軍手薄となる＝佛軍に餘裕あり

ヴェルダン攻擊の獨軍は全軍に亙り漸く手薄となれるに反し佛軍は尙新たに使用し得可き夥多の砲彈を保持せるを以て善く獨軍の攻擊に堪へ得るのみならず進んで敵軍を攻擊し得可き實力を有す（紐育電報）

○東部戰場指揮官更迭

獨墺聯合軍司令はヒンデンブルグ

アムステルダム來電に曰く伯林及び維納に於て發表されたる公表に依れば露軍の攻勢に鑑み東部戰場に於ける諸軍指揮官に更迭ありヒンデンブルグ將軍は共同戰鬪の爲め懇請されて獨墺聯合軍の司令に任せられたり（倫敦來電）

○英帝の百萬圓下賜

首相アスキス氏は報告して曰く、皇帝は軍事の目的に使用の爲今回金百萬圓を下賜せられたり（倫敦電報）

○林公使大阪著

四日夜入京の林權助男は桃山御陵に參拜後午後來阪せり男は住友、鈴木氏等の送別宴に臨みて一泊し六日發西行の筈なり（大阪特電）

○橫濱高工新設

文部省に於ては高等工業學校を橫濱に新設するに內定せり（東京電報）

●所得稅施行規則

所得稅法施行規則は府令第六十五號に依り七日の官報を以て發布のことゝなれり同規則は法人の決算其の他の屆出に關する事項を規定せるものにして全文四條より成り發布の日より施行の筈なり

●國稅端數切捨

國稅の課稅標準額端數切捨に關する件は府令第六十六號を以て七日の官報に依り發布され即日より施行の事となれり

●鮮鐵運輸成績

七月中に於ける鐵道局運輸成績如左

七月中に於ける	同月分	前年同期比較增加
乘車人員	三四三、八〇九人	一八、六四三人
小手荷物斤數	一、二一四、〇六四斤	三〇八、八七六斤
貨物噸數	一二〇、三四四噸	二九、五七一噸
客車收入	三一六、〇一五圓	五一、六三二圓
貨車收入	三三〇、一六〇圓	六八、〇五五圓
運輸收入	六四六、一七五圓	一一九、六八七圓
一日一哩平均	二〇四七一錢	三四六錢

●鮮鐵工事狀況

七月中に於ける朝鮮鐵道工事狀況を見るに咸鏡線輸城章興間線路建設工事（十四哩七分）土工々事は土工橋梁工事共通じて七分六厘通り成工、章興古茂山間線路建設工事（十三哩九分）は七月二日全部成工、古茂山全巨里間線路建設工事（十一哩八分）は通じて八分通り成工、全巨里蠶山間線路建設工事（十八哩三分）は七月十三日より工事著手せり尙建築列車は淸津起點二十八哩十鎖即ち古茂山停車場を北に去る約一哩迄運轉せり

●文永鐵道開通期

咸鏡線第二工區文川永興間鐵道工事は目下殆んど完成に近き停車場設備並に官舍の附屬建物の如き着々進捗し八月中には全部の竣成を見九月一日を以て該線營業を開始する筈なりしも諸般の都合上九月十五日頃ならでは開通するに至らざるべしと

●咸永間鐵道工事

咸興永興間の鐵道工事は既に一通り實測を終れりと雖も尙數箇所に亙り再調査の必要ありて更に實測隊を派遣さるゝ筈にて該工事着手期は未だ確定せず本年末頃には起工さるゝに至るべきも本年內は工事費の關係上充分なる進捗は不可能なるものゝ如し

●叙任辭令（二日附）

總督府典獄　鮎江長治郎

陞叙高等官五等　總督府判事　平山正祥

任總督府檢事（高等官五等）　總督府判事　石川鶴吉

任總督府典獄

▲叙位　七月三十日附を以て左の通發布されたり

叙正八位　新山公立普通學校長　梅澤哲次

又た三十一日附を以て左の如く叙位の御沙汰ありたり

叙從七位　若松公立普通學校長勳八等　富谷直吉

价川公立普通學校長　乾佐五郎

叙正八位（各通）　公立普通學校長　松川清

●七月の朝鮮貿易

輸移出入共益々激增す

▲輸移出入額　七月の貿易額は輸移出品價三百六十一萬三千餘圓、輸移入品價四百八十六萬九千餘圓、合計八百四十八萬三千餘圓にして前年同月に比し輸移出二十七萬九千餘圓輸移入九十八萬七千餘圓を孰れも增加したり

▲累計貿易額　次に一月以降累計貿易額は輸移出品價二千七百三十三萬二千餘圓、輸移入品價三千六百五十六萬千餘圓、合計六千三百八十九萬四千餘圓にして之を前年同期に比するときは輸移出百五十萬二千餘圓、輸移入五百九十二萬五千餘圓合計七百四十二萬七千餘圓の各增加となりとす

▲輸移出狀況　本月の輸移出貿易は前年同月に比し（一）米は浦鹽及び支那輸出稍々好況を呈せしも內地移出に於て多大の減少を告げしを以て其の輸移出額は數量六萬餘石價額六十六萬三千餘圓を算するに過ぎずして前年同月の半數に充たざりしと（二）金鑛及び沃鑛も亦出荷不振にして六萬八千餘圓を減じたるに拘らず（三）一面に於て繭の輸移出四十八萬三千餘圓を增加し未曾有の盛況を示せしと（四）引續き重石鑛十八萬六千餘圓含金銀粗銅三十萬二千餘圓を增出せし結果輸移出貿易總額に於て尙ほ廿七萬九千餘圓の增進を示せり

▲輸移入狀況　輸移入貿易に在りては（一）綿布類は米棉高と內地輸出市場の好勢にて氣配益々强硬の傾向ありしと一時停滯勝なりし輸移入品は漸次消化されつゝある狀勢にて金巾類に十六萬餘圓其の他に七萬六千餘圓を增加し（二）近時鑛業の發達に伴ひ採鑛及び製錬に要する機械類の入荷盛にして本月の如き諸機械の輸移入額二十萬六千餘圓を示し前年同月に比し九萬八千餘圓を增加し（三）其の他食鹽に四萬千餘圓、支那麻布に三萬二千圓木材及び板に十一萬餘圓の增加を告げたり（四）而して減少の著しきものは粟の十三萬四千餘圓毛織物、マッチ及び石炭等の合計五萬五千餘圓に過ぎずして結局前額の增進に了れり

▲出入重要品　今七月及び一月以降累計の輸移出入重要品目を擧ぐれば左の如し

▲輸移出重要品（圓）

品名	七月	一月以降累計
米	六六三、七七六	九、六〇七、三三三
大豆	二二〇、六八二	二、三八一、四五〇
其他豆類	九六	三二、〇五九
鮮魚	三、一〇四	一一、七六〇
乾魚	一一一、六一六	四五六、六八一
人蔘	一、一四五	三七五、九四一
綿花	七	一、〇九二、五六七
繭	七六〇、九七二	九二二、二七九
金鑛及沃鑛	五五、七〇三	八〇〇、四五二
鐵鑛	六二、八七八	二六五、二九八
重石鑛	一八六、一八六	一、〇九五、一四一
石炭	三三、九〇六	二四〇、五七九
含金銀粗銅	三〇二、八八三	一、七〇五、六〇一
牛皮	一一九、四四二	一、八六四、三二一
皮革製品	三九一、〇四六	九二三、五三三
煙草	三八、三七二	二二八、五五四
生牛	二一、〇八〇	一九二、六二六
木材及板	二三、九三五	一四八、一五三
其他雜品	六一六、四一六	四、八八八、五七四
合計	三、六一三、一四六	二七、三三二、八九七

▲輸移入重要品（圓）

品名	七月	一月以降累計
米	二九、七五六	六二、四九四
粟	一八、〇八三	五三、五一一
小麥粉	七〇、八三二	四五四、七四九
食鹽	九九、三三〇	五六〇、八八六
砂糖	一七八、六一四	一、〇七五、三四五
石油	八、一九九	四五三、八四五
綿類	一七、〇一二	一五一、四二二
綿絲	一〇、五五七	一、五九一、九三三
生金巾	二六五、五九九	二、四七〇、〇一三
晒金巾	一七六、〇五一	一、三七一、四二一
天竺布	二九、一〇七	二五九、七九七
綿ネル類	四七、八三〇	二五八、六三三
日本木綿	一四六、四八四	一、二九六、一七一
支那麻布	一七二、一〇六	一、五七二、四六六
毛織物	三五、二二九	三〇〇、五九八
絹織物	九九、〇一六	六六三、五一二
交織布	二、六九四	五六、四四四
洋紙	五〇、六八二	四〇六、四〇二
紙類	九五、三四二	六二八、三二七
鐵	九一、八〇七	四九五、六九二
鐵管	二〇、五六一	九四、九五八
鐵條及附屬品	二七、八二二	四四三、五四三
鐵道機關車	—	一四四、七二二
機器	二〇六、九三四	八九七、六六七
煙草	二八、七九四	二八三、六八二
石炭	一六四、三一〇	九九〇、三六五
[illegible]物	三〇一、〇四八	二、二〇八、六八六
其他雜品	二、〇二五、〇四八	一五、二一一、六五六
合計	四、八六九、九六六	三六、五六一、二二一

▲港別貿易額　仍ほ前記輸移出入品を港別に示せば左の如し

▲輸移出

港別	七月	一月以降累計
仁川	三九一、五〇四	三、五二六、四九四
釜山	一、七三五、二三〇	九、八一四、四一七
元山	四〇八、六九一	一、四九四、六五三
鎮南浦	五五三、三六五	三、七六八、七四九
京城	一七三、二〇九	一、〇五一、五三八
群山	四三、四九五	三、三一一、四一九
木浦	三四、五六三	一、九一四、八九一
大邱	八、二九七	一一、九八一
馬山及鎮海	一二、六六一	六八、九九八
淸津	一六、五七七	一七一、六五四
城津	三八、〇四九	四二五、〇〇六
新義州及龍岩浦	一七八、一一〇	一、四八六、四三八
平壤	一九、三九五	二三六、六一九
合計	三、六一三、一四六	二七、三三二、八九七

▲輸移入

港別	七月	一月以降累計
仁川	一、一九〇、四一六	九、四九一、五八九
釜山	九七四、二三九	八、〇九〇、八九〇
元山	三一三、七四二	一、九六二、六四三
鎮南浦	二四二、八二〇	一、三六〇、七七五
京城	九七四、九四四	七、二四六、二二九
群山	一一九、八一三	一、〇六二、八二二
木浦	八九、六八五	八七八、〇四九
大邱	一〇六、二四一	一、一一五、七一七
馬山及鎮海	六一、九一三	五三一、五四五
淸津	二三四、三五三	一、二一八、七五四
城津	七八、九〇一	四一一、三九六
新義州及龍岩浦	二九八、八九四	一、六四四、一六三
平壤	一八六、〇〇四	一、五四六、六四九
合計	四、八六九、九六六	三六、五六一、二二一

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯局　營業局　振替貯金口座
發行兼編輯人　奥山直[illegible]
印刷人　小川三之介
定價　廣告料

●駐支米公使通過

北京駐剳米國公使コラウヱル氏夫妻一行七名は四日午後南大門通過鮮滿直通列車にて南行東上せり

●李長官入京

江原道長官李圭完氏は書記加藤襄氏を隨へ去る三日入京したるが目下原金旅館に滯在中なり

●高橋武官歸任

寺內總督に隨伴東上中なる總督附武官高橋大佐は七日東京出發歸任の途に就く旨其の筋に通知ありたり

●遞信兩技師出張

諸般より大阪永田三十郎氏の購入船（三千百噸）の朝鮮入籍申告ありし事は既報の如きが遞信局よりは檢査の爲め伊藤須田兩技師を數日前神戶に出張せしめたり

●迎日水利竣工式

五日慶北迎日水利組合の竣工式擧行に付東拓よりは金融部の石川書記出張列席したり

●滋賀縣學生團

滋賀縣商業學校生徒十四名は六日安東より午後一時二十七分平壤に來り一泊七日午前一時二十七分平壤發同八時南大門著一泊八日午後七時五十分南大門發釜山へ向ふ筈

●廳舍擴張問題

京城府、本町警察署、京城商業會議所は共に本町一丁目より旭町一二丁目に亘る一圓の內に所在し居り而かも其裏手には府尹、署長及び府事務官の官舍總督府官舍等十數軒混在し居りて今日の所空地とも稱す可きは府廳前に數百坪を剩すのみなり然るに府の所管する事務は年一年膨脹する一方にして其ため府の新築に或は複區合の擴張に於んで擴張の限りを盡したるが本府廳舍も亦漸次事務の繁劇を告げ昨年府廳構內の一隅に擴張を行ひたれども之とて今後は寸厘の擴張さへも無き程となり居れり只今日幾分融通の點を見出し得るは元の民團役所にして商業會議所の假住居となり居れる一箇所あるに過ぎず何れにせよ早晩根本的の大擴張を要すべしとなし總督府並に府、警察署等に於ても目下擴張の設計中なるが一說には總督府官舍の他に移轉し府尹署長の官舍を一部改造すると共に府廳及び警察署共に根本的の擴張を行ふの議ありと云ふ

●製絨會社の總會

兎も角も＝妥協が付いた　其代に奇々怪々な決定也

先月二十八日の總會で重役連の態度に不滿なりとして遂に流會に終らせた千代本、松葉亭、淸香園、高木德諸君の宅などで數回の協議を凝しやつとの事で四日の午後二時から再び商業會議所の樓上で總會を開くことゝなつたのは例の製絨會社也▲當日開會時間間際に乘込んで來た釘本、古城（梅）、河村、池田長兵衛、佐野氏等株主の面々は階下の一室に陣取つて其日の作戰計畫を議する、古城君が近頃は會議所も、學校組合も府の方も議論らしい議論は出來ないのだからと暗に當日は議場で大に鬪はんと云つた樣な氣概を見す▲專務兼社長の中村十郎君が議長席に著き開會を告げたのは二時四十分出席株主二十三名委任狀二十八名で此株數千百六十株なりと報告し更に前日開會の總會より今日召集に至る迄の經過に就て一通りの說明が濟むと▲釘本君が前回のは果して決議なりや否やと云ひ近藤君は一體本日の會合は何人の爲か其性質を明示せよと詰り、古城君も亦商法を楯に取つて本日の召集は社長の不法行爲なりと眞綿で首を締める樣に油を搾る▲重役の一人之を受けて前回では決算に對し列席の株主は承認を與へたるも尙ほ決算書中八千九百餘圓の假拂の內容に就ては追て委員に說明を行ふ可との條件付にて閉會したるなり故に本日は前回より繼續したる會合として召集したるものにて脫脂綿引受に關する贊否を求めたしと述べたるに▲前回は決議に非ず否決議なり、本日の總會は無效のものなれば更に二週間の後臨時總會を召集せよと迫る重役等はマアくく圓滿にくとなだむれど議論は細々として盡きず▲其內前回の決算の承認するせぬの方は兎も角條件付で前回同樣承認することになり本日は單に協議會として議事を揚げるとこゝ迄漕ぎつけたり▲それより約一時間半に亙る休憩をなし彼方でも此方でも打合をなし居たるが再び開會の上脫脂綿は會社の名によつて重役個人の事業とし其事業に因つて損失をしたる場合は重役の負擔とするも利益を得れば半額を會社に提供せよと至極虫の好い希望を述べる者もあれば又現在會社の三千圓の缺損を補塡せよとも云ひ近藤君などは大に男前を見せる積りか損は全部重役にかけぬが得があれば株主に出してやれと云つても見たが贊成する者のもなく▲結局株主は割前の半分を出せと云ひ重役は金額は定められぬが儲かつたら相當分配しやうと爭つて却々決せず先刻の法律家も瞭識主義者も『金』にかけては拔目なく九十二度と云ふ熱度の議場で玉の樣な汗を流して利害を爭ひ居る所は側で見て居ても熱苦しいこと夥しきものなりき▲併し遂に七時頃ともなれば腹も減るし汗は流れるしさすがに時間も時間とて一定の條項に承認を與へ決議として事を處理して呉れ今日の所は假に何とか云ふことになり後日株主全體の承認を求めたら會社の名義を以て重役（關繁太郎、藤富國太郎）原末太郎、中村十郎、個人の事業とし其事業にして損失の場合は何等會社に迷惑を及ぼさゞるも若し利益を得たる場合は重役等の意志により相當の額を會社に提供すべし』と云ふ意味の覺書を書記が讀み上げ漸々ながらも拍手の裡に先づ見が付いてぞ見わける▲何しろ六時間幕無しの大論戰に何れも細の如く疲れたるらしく散會後壽町の松翠亭にて懇談を兼ねての晩餐會を催すことゝなり此芝居も木の頭にて[illegible]じとなつたりける

安東縣

▲林公使通過期　新任駐支公使林權助男は來る八日安東驛通過赴任す可し▲立花師團長　第十九師團長立花中將は西鮮各部隊巡視の途次二日夜新義州著鐵道ホテルに投宿三日午前より同地守備隊を巡視し同夜齋藤營林廠長等の發起に成る鐵道ホテルの歡迎會に臨みたるが四日朝義州へ向け出發せり▲鴨綠材近況　採木公司の調査に依れば七月卅一日迄の著筏數は二千九百〇二臺九十一萬四千四百四十五連にして昨年同期に比すれば一千〇六十一臺三十三萬四千二百十五連の增加を示せり而して市場は昨今頗る活氣を呈し價格は紅松二千五百才見當のものは二分五厘を杉松一分五六厘を唱へ良材は著筏するや否や直ちに取引を見つゝある狀況なり

平壤

▲鮮人教員講習會　七月廿二日以來平壤第一公立普通學校に於て開會せる鮮人教員講習會は八月三日を以て修了したるに付き同日午後一時より同校に於て修業證書授與式を擧行したり同局よりは後川第一部長山崎學務主任書記を隨へ臨場訓示を爲したり本講習員は男教員百名女教員二十名なるが女教員中年齡四十歲位の者もありたり▲金融組合設立近況　平安南道成川郡に於ては豫て地方金融組合設立準備中なりしが七月二十日組合員應募者七十餘名を成川郡成川邑內に召集し組合定款及び組合長幹事其他設立に關する事項を議決し直ちに設立許可の申請をなしたり▲府債許可　平壤府に於ては特別戶別稅不許可の結果として歲入の欠陷を補ふべく府協議員の意見を徵し五月二十二日付を以て五千圓の起債申請中なりしが七月二十九日總督府より認可せられたり

仁川

▲鮮銀支店成績　朝鮮銀行仁川支店七月中の成績は手形取扱仕向高八十五萬八千四百六十九圓被仕向高百二十五萬五千五百四十五圓預金受入高二百六十萬二千七百十二圓拂戾高二百六十五萬一千四百四十圓貸出高百零二萬七千八百三十九圓入金七十九萬二千八百五十三圓なり▲和田書記長上京　商業會議所書記長和田友太郎氏は公務を帶び總督府へ登廳の爲め五日午前上京即夜歸所したり▲上野書記に記念品　元仁川府書記にして今般始興郡廳主任書記に榮轉したる上野小一氏の在職中の功勞に酬ゆる爲め府廳其他の有志者發企となり記念品を贈る事に決定したり

木浦

▲客月貿易額　七月中當港貿易額は輸移出三萬四千六百六十五圓輸移入八萬五千三百二十一圓合計十一萬九千九百八十六圓にして之れを前年同期に比すれば輸移出十三萬二千百七十六圓の激減即ち僅かに其二割に過ぎず輸移入は殆ど等しく四百六十二圓の減退なりと▲海苔養殖試驗　當府にては勸業費二十圓を以て來る十月荒島より種海苔を取り寄せ松島公園下より高下島附近に亙り二箇所に於て養殖試驗を爲す計畫なるが山規模小なれども同所附近海水の比重は荒島と全く同一なるより多分成功すべしと▲持地局長動靜　持地土木局長は山岡技師以下を隨へ二日午前十時半光州より來著官民多數の出迎を受け三吉野に入りしが午後府尹の案內にて當港灣を視察し三日綾田技師の東道にて勸業模範場及び分監府廳を歷訪し山岡技師は長谷川道書記佐藤水道主任の案內にて水源地を視察せり一行は四日一番列車にて歸京▲長崎商業生徒來木　長崎商業學校生徒は二日信濃丸にて來木森川十八銀行支店長の斡旋にて各種業會社其他を視察し會議所を訪ひて經濟狀況を聽取し午後群山に向へり▲府尹內地行　松本府尹は母堂危篤の急電に接し三日正午發の汽車にて東京に急行せり

釜山

▲酒造業者會合　釜山酒造業者一同は去る四日午後三時より商業會議所內の商工倶樂部に會合し來る九月より實施の酒造令實施當時の所有酒に對しては課稅せず新たに釀造する物より新稅を適用することを請願することゝ決定し其の筋に對し當日請願書を提出したり▲水產會社上棟式　釜山水產會社にては昨五日上棟式を擧行する筈なりしが工事の都合に依り來る七日頃之が上棟式を擧行すべし

大邱

▲鑑定價格變更　大邱稅關出張所にては本月十六日より輸移出品課稅價格を左の如く變更す

▲大豆（上）七圓三錢（並）七、一〇▲小豆（上）九、五一（並）八、九九▲大麥（上）三、六七（並）三、二七▲小麥（上）六、三六▲牛皮（百斤）七〇、四八▲牛皮（百斤）五五、〇〇

▲府郡參事諮問會　慶尙北道にては本年秋期各郡に於て開催せらるゝ重要物產品評會を機とし品評會開催中に於て左の區域に依り開會する事に決定せり

▲（大邱、達城、慶山、淸道、永川、軍威、星州、高靈）▲迎日（迎日、慶州、[illegible]）▲尙州（金泉、善山、尙州、聞慶）▲安東（[illegible]）

▲竹崎大邱府尹歸廳　展墓の爲め鄉里島根に歸省中なりし竹崎大邱府尹[illegible]

人事消息

▲安住時太郎氏（鐵道局參事）大邱へ出張中の處五日朝歸京

▲大澤武男氏（東京帝國大學工科大學教師）五日朝出發元山へ

▲千谷好之助氏（同上）同上

▲武藤文吾氏（江原道第一部長）五日朝入京旅館[illegible]尾へ

▲杉原熊太郎氏（東京朝鮮拓殖會社元山販賣所長）五日朝入京山本旅館へ

▲前田好雄氏（鳳凰山販賣所長）同上

▲高喜朴介氏（鐵道院西部管理局副參事）四日夜入京天眞樓旅館へ

▲セストリユード氏（佛人）▲コンサーブ氏夫妻（米人）五日入京朝鮮ホテルへ

▲翔尾鴻邦氏（朝鮮新聞社長）五日出發金剛山へ向ふ路元山咸興地方を視察する由

趙子爵の金剛山に在るに寄す　大塊

□　戴冠の人登る金剛の秋涼し　無佛

□　君往いて金剛の秋も賑ひぬ　虎耳

□　初秋の金剛に君や太りませ　九分

□　秋金剛天に壽星あり地に壽老

□噛きを休めて……新龍山にて……

●談合事件の公判(第二日)

野田検事の求刑=大村検事正の起訴理由辯明=各辯護人無罪を主張す=被告一同の保釋を許せらる

四日午前九時より引續き第二回公判を開廷せり傍聽席は早くも満員を告げ傍聽者の多數は廷外に佇みて傍聽せり西山裁判長、野田検事の外大村検事正立會服部慶北警務部長、柳澤地方法院長、澁谷検事、小牟田警察署長、齋藤判事等の臨席傍聽あり先づ辯護士より一二事實の質問あり

▼検事と検事正 序て野田検事の論告に移る要旨は前日の訊問にて明白なる如く被告一同が第一回新洞若木間の工事は談合の結果十萬三千圓が適當なりとし然らば誰が是を請負ふかの問題に至り津田は將來社會に活動せんとする所志ありたるが爲め此

▼好機會を利用し談合金を請負額の二割二分四厘を提供して是を引受けんとせしが當時大倉組が來合せざるを以て策の得たるものならずとも小林が谷口を同行して大倉組に交渉し遂に協議的承諾を得るに至れり此の如くにして二月八日鐵道局と契約を締結せり第二新洞大邱間の事件は二月四日頃被告等は指名を受け二月六日現場實地視察の歸途琴湖江附近にて

▼談合の端緒を開き七日鷺梁津荒井の別荘にて協議せんとて別れたるが加藤洋行の二萬二千圓を出して是を請負ふ事に談合せり要するに二件共指名競爭入札にして各自が對等獨立の關係に於て入札すべきものなるに談合せしは鐵道局の主旨に反するものにて是を刑法に照すに第二百四十六條第二項に該當する明瞭なる事實なりと結論し各被告に對し求刑し次に大村検事正は起ちて今回起訴せし事實の内容を辯明し談合事件に就き昨年高等法院に於て

▼無罪の宣告を受けしものある事も、其他辯護人の縷述せし會計法も熟知せり然れども本職は昨年の高等法院の判決には絶對に反對するものにして會計法の如何に拘らず今回の事件は野田検事の論告の如く求刑すと述べて座に着けり

▼辯護人の無罪論 加藤辯護人は被告の人と爲り及び社會的信用等を縷述し進むで事實上より法律論に及び無罪を主張し堀池辯護士は昨年高等法院に於ける談合事件無罪の例を援し法規上より検事の刑の適用

▼不適當なるを辯駁し絶對的無罪説を主張赤尾辯護士又隨意契約は鐵道局に誤信を起さしむるものに非ざるを述べて無罪の宣告を要求し木尾岡田護士も同じく談合の事實其物は何等財産上不法の利得を得る要素なしと主張し且又大倉組の岡田は小林と何等談合意志の疏通なかりし事を辯明し安住朝倉辯護士又た同じく

▼諸種の事例を擧げ談合事件は刑法上の制裁を受く可き要素なきを述べて無罪を主張し午後七時半漸く辯論を了り西山裁判長は宣して思ひ當る所ありたれば辯護人よりの申請を却下せし加藤鐵道局經理課長を職權を以て喚問すべしと告げ被告等一同は保釋を許可されたり判決言渡しは十四五日頃ならんと

●慘澹たる燒跡

▽函館大火災の詳報

北海道函館に於ける今回の大火は明治四十年の大火以來の大火災にして燒跡の光景實に凄慘を極む燒失せる區域は旭、音羽、堺、西川、鶴岡、地藏、汐留、眞砂の八個町に亙り燒失戸數は未だ詳細に判明せざるも二千戸位なるべし主なる建物は高等女學校、憲兵分隊、専賣支局倉庫、鶴岡郵便局、北海新聞、函館貯蓄銀行出張所等にて長時間に亙れる爲め警察も消防夫も疲勞困憊し重砲兵大隊碇泊中の最上艦の水兵附近七重濱田村等の消防夫來援せるも非常に困難を極め八時漸く鎭火せり是れがため電燈瓦斯全滅し電車のみ辛うじて通じ居れり區役所は猛火に包まれたるも漸くにして免れたり(東京)

●壽座の男女合同劇

紀久八錦絲路香一座を觀る

▲近頃京城の女優とは碌び昔のまゝの女役者で、三四十年以來、日本國中を股にかけて廻きぬいた鍛の光り、恐く錆つては居れどまだ中々に捨て難い紀久八、錦糸、時世時節で女優さへ名が付けば深草詣りのお茶ピイにまで押され勝の、昔の人氣は、顔を刻む皺の其底にも認められない哀れさだが舞臺に立てば迚成女優の及ばぬ所に熟練の有難さもある久し振りに彼等に接して歌舞伎芝居の偲ばれるも嬉しかりし

▲晝夢が殘れるは四日の晩、安達の三の小途よりなりしが、舞臺の狹き、大道具の不充分な爲か役者の數を小さくしたるも紀久八の袖萩は同じく身のこなしやかさな失はぬ心持内輪々々に演つて居たるもよく『おゝお君もう駕籠よう御座る、此の又冷ゆる事わいの』からの動きも誇張に過ぎずすらくと演つてのけたはよし錦糸の貞任は佳し、納言の山も立派『怪しや聞ゆる箭の響』で馬渡る聲もよく、約束のゼ三で『ヘテ不思議や』の極まりも大きい。公卿から武士に變る心持もよく現はれ居たり、歌吉の宗任は始めの山の粉裝を今少し時代にしてはと思ひたれども之れも無難、増枝の濱夕の若衆過ぎたる、紀劇部の名村の讃比、太三郎の義家とも前三者に比し著しく見劣らしたれども是は已むを得じ

▲唯此の場にて不澁を打ちたき點も二三あれどそれよりも黒子が小煩く役者の前後左右に立ち纏るは歌舞伎芝居の樣な感じがしたり。此邊は無理かも知れざれど、路香が宗任を呼ぎ合ひ歌吉が義家を動むれば確かなものと思へり

▲中幕の演松風では居の者が甲走り過ぎた感で舞臺振りは仰山過ぎて目障りとなりたれど紀久八の老之助はすつかり世話に砕けて五十とは思はれぬ程の美しさ、心にくい程手に入つた所を見せ、錦糸の南陳、路香の日本駄右衛門も確かりしてゐたり。宗之助、名村の番頭藤十郎の盡の者共に有難く覺く代物では無いが先づは無難、此の幕で見附け者は太三郎の幸兵衛で前の幕の義家に勝る數等なり

▲團欒劇に於ては有望が見えて此の劇の氣分が十分に現はれざりしも思つた程調子なく北枝の赤垣重三、歌吉の忠信利平の喝の調子に旨物らしからぬ所頗る多かりし約束の露詞捕手と殿んでの極り極りも鮮かに近頃珍らしき歌舞伎風を見せて呉れたり、切の喜劇は時の都合で見ず。(太郎法師)

●背後から斬る

釜山大新洞居住鮮人金得伊(三二)は去る三日午後一時三十分頃本町一丁目高瀨検査場裏手にて休み居たる際何者とも知れず後ろより來り不意に金の鉢卷を解ひ取らんとしたるより驚いて振り向きさま之れを防止したる一件の怪漢は懐中より刃渡り八寸位の出刃庖丁を取り出し金の左腹部へ切り付け長さ三寸餘深さ肋軟骨に達する創傷を負はせたれば金は悲鳴を上げて救を求めたるに附近の人々も馳け付け漸く取押へて派出所へ突き出したるが此の男は朝鮮汽船釜陽丸乘組員三好加市(二二)と云ふ者にて原因は取調べ中なるも多分酩酊狂なるべしと

●梅實大の降雹

去月二十八日午後四時二十分より同五時四十分迄全羅北道任實郡江津面葛潭方面にて大雷雨と共に梅實大の降雹あり葛潭前川の如きは増水八尺に至り家屋四戸六棟は床上に浸水せしも人畜には何等死傷はなかりし今回の如き大雷雨大降雹は從來未曾有にして農作物には多少の被害は免れざるべし

●三人兇賊

去月三十日夜も更けて一時頃覆面したる三名の男が慶北榮州郡長壽面敏文里旅人宿安周先方を襲ひ中一人は屋外に見張りをなし他の二人は小刀を持つて中に入り折り柄熟睡中なりし家人を呼び起しまづ同家の妻及び子供を布團にて覆ひ李主安を捻ち伏せて金品を出せ若しこれを拒み又我々の顔を見る時は此小刀にて斬殺すべしと脅迫して室内を捜査し金品を奪つて其の儘同家を立ち出で更に隣家金成某方に入り前同樣の手段にて金四圓餘を强奪し逃走したり此急報に接したる同地憲兵は直ちに犯人搜査を行ひしも遂に検擧するを得ず引續き行方搜査中也

●女房から手切金

黄海道安岳郡邑内面朴詠玩(三八)は其の妻處永と仲惡しく到底同棲の見込みなきより母の李應坤(六〇)と申し合せ離婚せんと考へ居る内妻は同里の洪明何なる者と姦通し居る事を探知し離婚するならば一層之れを種に金にせんと目論見洪明何に難題を持ちかけ脅迫しも應せざるより小刀を持つて脅迫し居たるに仲裁者ありて手切金として七十圓の手形を受取りたる事を其筋に探知せられ海州地方法院にて懲役五月を申渡されたるが之に服せず平壤覆審法院に控訴せり

●嫁を絞め殺す

慶北尙州郡沙伐面元興里金斗漢の妻車孔間(一九)は評判の亂暴者にて夫斗漢の父は姑と金巨夜(五〇)等を毆打すること度々に及び或は同里内の男女誰彼を問はず口論格鬪等をなして手に負へざるため遂に斗漢一家は里民より排斥さるゝに至りたるより姑は大に孔間を怨み六月二十六日夜同家の物置小舍内にて細紐を以て不意に孔間を絞殺したる上密かに埋葬したること此程に至り發覺して金巨夜は其筋の手に逮捕されたり

●親の金

釜山富平町三丁目酒幕崔乃順の實子崔商善(二一)は去る二日親の金五十餘圓を掠奪ひ下關行き連絡船にて内地に逃げ行きしが擾ねて父の訴へに依り下關に見張中の巡査に取押へられ去四日の聯絡船にて直に釜山に送り返されたり(釜山)

●大樹に落雷

平南成川郡崇仁面居仁里金鎬仁所有水車小屋を西方を距る約八間の地點にある周圍八尺高さ約三丈餘の槐樹に七月二十四日午後三時頃落雷あり該樹木は四分五裂となる

●豹に噛まる

慶北善山郡龜尾面飛山洞黄永勳孫黄福基(三)は三十日夜又淸道郡豊角面鳳陂洞李錫根孫李兄先(七)は二十日夜何れも就眠中豹に咬殺されたり

●泥醉して轢死

全北全州郡の輕鐵列車が一日午後九時頃裡里より九哩餘進行したる際一鮮人轢死せるを係官出張検視せしが死者は全

●汽船小雛丸擊沈さる

船長は獨逸潜航艇の捕虜となる

海軍省着電に依れば汽船小雛丸は八月二十七日午後北緯三十一度三十八分東經二九度五六分の處にて獨逸の潜航艇の爲め擊沈せられ船長のみ敵潜航艇の捕虜となれり船員はアレキサンドリヤに上陸せりと同船はビゼルクよりポートサイドに航行中なるが如し同船は神戸中村淸七郎所有船にして三千四十噸あり(東京特電)

●姦夫婦の處刑

釜山府大新洞元九根(四〇)の妻崔淑尹(三五)と云ふは既に三人の子あるにも拘はらず同地の李春甫(二五)と情を通じたる爲め本夫より姦通の告訴をされたるが去る三日釜山地方法院に於て姦夫李春甫は懲役二箇月姦婦崔淑尹は同四箇月の懲役に處せられたり(釜山)

●京城の傳染病

京城府内に於ける七月中の傳染病患者總數は合計百八名に達し最も多數を占め居れるは腸窒扶斯患者六十六名なるが此内朝鮮人の罹病者は僅か四名にて他は悉く内地人なり次は赤痢患者二十七名、パラチブス十二名、ヂフテリヤ三名等にして何れも内地人が多數を占め居れり

●金剛山嶮嶺縦走

金剛山嶮嶺縦走を企てたる日本山岳會員樋木遞信副事務官は六日出發金剛山に向ふ由なるが往復約二週間の豫定也

●金に窮つて窃盗

京城蓬萊町二丁目崔鍾洙方同居金應澤(二四)は梅毒に罹り金に窮る所より七月二十七日夜龍山元町一丁目橋本某方に侵入し現金七圓七十錢餘入りの財布一個を窃取し元町憲兵所に引致さる

土木請負(一)

●暗黒の幕に包まれた遺憾なる出來事 宿弊改善の時機

京釜線改修工事請負不正事件は在朝鮮の重なる請負業者の殆ど全部を網羅して居るので土木業界は元より官憲及び民間に於ても尠からざる注意を以て

◇其の成行き を凝視して居る元來此の種の談合事件は内地に於て減少の傾向あるに拘はらず朝鮮に於ては之に反して頻りに大小不正事件の暴露を見るのは頗る遺憾である殊に今回の不正事件關係者の如きは

◇朝鮮に於て 土木業界のみならず一般の社會よりも相當の信用を繋ぎ來れる者であるだけそれだけ朝鮮土木業界の信用を殆ど地に墮したと云ふ觀がある勿論こんな事になるのも因襲の久しき俄かに改め難きものあり

◇新來の同業 者が勢ひ此の惡風潮に反抗し得ざる事情も有るべく其の裏面には自ら大に同情すべきものと然らざるものとの區別があるであらうそして今回の談合事件は一部の骨の硬い當業者を除くの外は日露戰爭後の軍政時代や韓國政府時代の混亂時期に習慣となつた結果より來たものではないかといふ事は今回の不正事件

◇成立の動機 が極めて簡短に恰も日常茶飯事を取扱ふが如き無雜作な態度で相互の間に成立して居るのに徴しても推察し得べく人をして或は常習には非ずやといふ樣な疑念を起さしめたのも強ち無理な想像でもない樣である若し不幸にして此迄に病弊が朝鮮の土木業界に浸潤したとすればその廓淸と差し當り

◇地に墮たる 觀ある信用と を如何にすべきかといふ事は現下の頗る興味ある問題で當業者は申迄もなく官憲並に民間の共に研究を要する處である出來る事なら之れを機として朝鮮の土木請負業者間の宿弊を根本的に改善し再び斯くの如き不祥事を繰返へさざる事を期せねばならぬ其れには

◇潔白な請負 業者の奮起を促さなければならず稍もすれば德義を無視せんとする我利的請負業者の猛省悔改を求めなければならず延いては土木當局の規定の改正を俟たなければならないかも知れない同時に一般が請負業者の選擇に就ても更に意を用ひるやうに爲なければならぬ斯くの如く各方面の改善相俟ちて始めて

◇積弊を打破 する事が出來やう朝鮮も併合以來五箇年餘を閲し既に社會各方面共に堅實なる發達を爲しつゝあるのに獨り土木請負業界のみ舊時の狀態を維持し泡ぶく錢の攫み獲りを許すやうな

◇道理はない 殊に朝鮮の鐵道港灣其他の建設は漸く第一期を終らんとしたるのみ今後益々各種の土木事業の興起を來たすは勿論なれば此際土木業界の革新を圖るは絕好の時機といはねばならぬであらう

●農學生徒同盟休校 全州…が立花校長の慰撫に依り一同登校す原因は前日同里酒幕金鳴元方にて木倉…[illegible]

名、德田岩次郎、小野仁…小川さく、稲葉静、安藤…[illegible]

天氣 曇但少雨

日出 五時四十分 日入 七時三十分

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社特約代理店 八月一日より提供の特別大寫眞 ○寫眞バテー週報 ○滑稽ピンブルと探偵 ○大阪毎日新聞連載小説 乳姉妹 ○新派大悲劇 ○伊太利ミラノ會社傑作 ○探偵大活劇 天誅

黄金館へ 大好評の…… 土曜日曜の御樂しみには…… 高尚で……罪なくて……世界一の…… 大冒險大活劇 名金 第七編 第八編 ◎白狐奇談 小笠原譽靈狐

黄金館 電話一八五二・二六三七 八月三日より納涼特別大興行 世界的大冒險大活劇『名金』第七第八編

御成座 壽町 電話一九一 革新派中村榮一行 一番目 鬼將軍 二番目 喜劇伯父の遺言

京城 壽座 電話五七八番 東京歌舞伎女優 中村紀久八一座

肋膜炎を病方に 水がたまつて苦しむ人 水がたまらなく病む人は… ロクマクエンにて永らく病の中に血が交り膿の液がたまり呼吸をすると胸が痛む咳が出る動くと呼吸が困難になると云ふ隨分難儀な病氣である此の病氣を速く治して丈夫になりませんと世の人々の最も恐れて居ります肺病に成り易いのですが未だ此の病氣に良く効く良藥がありません東京府大森新井宿中江藥療苑ハガキにて御照會あれば是迄實地服藥の上最もヨクキク靈藥の自宅治療問答書を同病に惱む方に無代差上げますから御遠慮なく申越下さい

中風病 脊髓病 (腦溢血半身不隨言語不明瞭) (手足腰脚引つり痛み不隨又腰出で) 以上疾患の患者自療法には元帝國醫科大學助手ゴーエッチシー川崎先生創製有効適良の專門自療藥あり◎同病困難者病名記入申込次第無料詳報す 申込所◎京都三條栗田御門内 川崎自療法研究所

マラリアに一番ヨクキクスリハ 龍山林藥房製劑の マラリア持効丸 ◎ニセモノアリ御注意◎ 本舗 龍山 林藥房 京城本町一丁目 代理店 山岸天祐堂

殺菌 速効 たむし 水虫 田虫 皮膚病いんきん 良劑 治癒 快治す

山田醫院 本町二丁目四十五 電話一八八〇番 内科 小兒科 花柳病 眼科 呼吸器病 胃腸病 專門 山田萬作 (入院 隨時) 尾形周太郎

米 期 曾我商店 大阪堂島米穀取引所仲買人

開館に付き避暑避寒に宜し 溫陽溫泉

祖母イワ子儀豫て病氣の處五日午前七時死去仕候就ては七日午後五時途中行列を廢し本町三丁目淨土宗開教院に於て假葬儀執行可致候此段謹告仕候 陶山武二郎

…殺し去る二十五日國語の試驗に際し會話を忌避するの態度を示し一面李…長官に陳情書を出す等氣儘の振舞を爲し二十八日に至り一同休校せし…

龍南兒第面惠兒鐵永鎭（二十）は二十七日午前五時頃自宅より約五丁程距りたる山林内の松樹にて縊死せ…

一坊訴へらる
櫻井蝶淡町天一坊事松谷元三郎は…自分が重役となりし月島西河岸通…

…水泳部では來る十一日…十哩水泳を擧行する筈である…一方米谷高（二）は四日午後五時半頃…南濱にて水泳中溺死…

◎安全な水泳場　西氷庫
△涼しい流れ　△白帆の影▽

□府内中學校及び小學校の漢江水泳者は初め總數七百名に上る盛況であつたが昨今俄かに人數が減つて四百人許りとなつた

□何うした理由かと訊いて見るとこれは一般父兄の方で非常に漢江を怖れ出したことによるらしい

□併し漢江の流れも學校の水泳場に當てられた西氷庫などは決して心配する程のことはない

□彼處は府内各學校の水泳教師が永い間實地踏査の結果發見したもので流れも非常に緩漫であるから滅多に溺れるやうな憂ひはない

□殊にまた學校の水泳には立派な水泳の教師も澤山附添ふことであるから父兄は充分安心されてよろしい

□昨今の漢江は涼し相な流れも白帆の影もうれしく一般京城の人々にもあの江畔の寫色を見せ度い程である

□此の頃毎日南大門を出る臨時列車は獨り生徒のみならず一般の希望者をも乗せたら好からうといふ希望が多いやうであるから近く鐵道局から何とか便宜を圖つて貰ふ者へである

□西氷庫の道は龍山の三角道路から左折兵營の方に向つてわずかである（石原京畿府第一課長談）

鬼百合

◎都山流尺八演奏會
都山流尺八宗家中尾都山氏の歡迎演奏會は六日日曜日の午後八時開會（開場は午後七時）會場は本町一丁目の有樂館にして演奏順序は次の如し
△明治松竹梅（尺八村上要岳等關照子）△本曲八千代（尺八二部合奏）△明宮宮駒介）（藤千代（尺八佐藤都合若菜（三澤佳風細田都揚佐藤都合中尾都山）△御山獅子（尺八中尾都山三絃宮崎大檢校箏關照子）△楓の花（尺八三澤佳風箏飯田君子宮宮駒介）△夜々の星（尺八細田都揚三絃宮城大檢校箏宮宮駒介）△本曲菊枝（細田都揚氏佐藤都合氏中尾都山師）△松風（尺八中尾都山箏關照子）△さむしろ（尺八佐藤都合細田都揚三絃宮城大檢校同關照子箏飯田君子）△本曲岩清水（中尾都山）

國萬二千峰の最高峯に立ちて
▽絶巓は繚亂たる高山植物の滿花△

◇私は道回金剛山連峰中の最高峰たる毘盧峰に登つて見たが頂上は一面の影で眼界を遮り遠く日本海の遠望を掛まいになるを得なかつた

◇併し絶巓から外金剛に向つた緩傾斜面では夏の六月頃まで雪の溜る所に山一面の偃松と盆栽に欲しき異柏とそれに眼もさむる許りの高山植物が咲き亂れて居た

◇私はそれ等の高山植物に就いて詳しい名前などを知らぬので甚だ遺憾であるが兎に角絶巓では盛夏七月中旬から芽を出し花を開き更に九月中旬降雪のあるまでに實を結ばねばならぬので此の頃はあそこに居ると實に百花繚亂の大美觀に接するのである

◇毘盧峰に登るには内金剛の摩訶衍から妙吉祥の大佛像を過ぎ更に四仙橋といふ所から左の谷に折れて其處からまた大岩壁の崩れを攀ぢて二千尺位の高さに登らねばならぬ

◇私は朝の七時に摩訶衍を出て午前十一時半に絶巓に登り着いたが其の間の山徑は大岩石あり溪流あり千變萬化殆んど造化の妙を盡して居る

◇殊に一歩を誤れば生命が危いといふやうな場所が多いので眼は常に脚下を睨み詰めて進まねばならぬ——箱根の馬は三年經てば眼があがるといふのは眞當と思ふた

◇殊に峻嶮な棧道や岩間の岐路に夥多の小石を積み重ねて道しるべを作つてゐるのは面白いこと、思つた

◇また摩訶衍から毘盧峰を越ねて外金剛の楡岾寺に出る間は殆んど千古斧鉞の入らざる大密林で唯々驚嘆する外はなかつた

◇殊に濶葉樹や針葉樹の大木にいろ〱な葛蔓のからみついたところは全く臺灣の蕃地に入る如き感じがした、兎に角朝鮮にもあんな大深森があるかと驚かれる程である（田土地調査局技術課長談）

◎水産課舟遊會
總督府水産課にては六日漢江に舟遊會を催すことゝなり生田課長を始め鮫原、谷湖兩技師、小田囑託其の他技手屬員の面々三十餘名は午前九時を合圖に龍山停車場前に勢揃へを爲し、夫れより二艘の船に分乘して釣を垂れ網を投げつゝ徐ろに漢江を下り、捕獲の魚介を肴として龍山の河原に大行樂をなす豫定なるが…

◎理財課舟遊會
總督府理財課にては入江課長以下課員一同六日の日曜を漢江にて舟遊會を催す由

神社とお寺と教會
○京城基督教會（南米倉町）六日午前十時より岸牧師祈禱、午後八時より說教『活動的教會』山本牧師、『主の教訓』同牧師

○日本基督教會（長谷川町）六日午前十時半より『基督の謙遜』井口牧師、午後八時半より

○メソヂスト教會（南大門通）六日午前八時より祈禱會あり說教は藤岡牧師の『エスの感化』午後八時半よりは旭町二丁目十六番地牧師宅にて傳道說教、新井鐘吉氏の『踏め覺へよ』

○龍山日本基督教會（漢江通）六日午前八時半より日曜學校、同十時より禮拜說教『主の諭告』伊藤牧師、同午後八時半より傳道說教『神の方法』原田武夫樹氏

○日曜學校　旭町二丁目三十六番地和田牧師宅にて六日午前九時十五分より

○開教院（大和町）五日午後一時より盂蘭盆會に於て新入教徒會ありたり他に六日午前九時より日曜學校、午後八時半より日曜說教あり

○曹洞宗別院（若草町）六日午前九時より日曜學校施餓鬼、同回金の說教あり

○西本願寺（永樂町）六日午前八時半より日曜學校…及び法話あり

○妙心寺（長沙洞）六日午前九時より無量寺及び松原總長の講話あり

○東本願寺（南山町）五日午後八時半より土曜講話あり

—△會いろ〱▽—
◎釜山小學校同窓會　釜山第五尋常小學校にて六日午前十時より同校に於て男子部同窓會を催すべく當日は會務の報告ありたる上、種々の餘興等あるべしと

その日〱　だいどころ
◎ビーフゴペット　牛肉を小さく才の目に切り鍋に入れて缺ぶる程熱湯を加へて又火にかけて三四十分間煮込みそれへ洗つた米とにんじんセロリーを入れ小さな布袋にタイムパセリ丁香等を入れて口をくゝりて一所に入れ又も三四十分間たき鹽胡椒にてあじをつけ燒パンと共に皿にもる

番茶のあとさき
此の程漢江で溺死した龍山商業の生徒は△其の屍體捜索の爲めに學校、消防隊、水上署は勿論目下漢江に架橋中の間組まで熱心に盡力した△猶ほまた生徒のお父さんが京城監獄の傭人であつた、め監獄の職員も一方ならず捜索に努めた△中にも監獄の第一課長は殆んど寢食を忘れて搜査や葬式に盡力したので近所の人も感激して居る相な

商況

東京株式特電
債券現物特電
公債直取引
深川在米特電
東京期米特電
大阪株式特電
大阪三品特電
大阪期米特電
下關期米特電
雜報

◎綿糸と綿布
…

◎洋鐵は漸騰
…

◎内地新米の走り
内地に於ける早場の新米走りは既に…

◎麥粉伸悩む
…

値高を現出し更に一段
…

下關相場
仁川米豆取引所仲買人　海岸町三丁目　三巳仲買店

京城正米
…

南大門の廻穀
…

仁川現物市場
釜山穀物市場
生魚市場

仁川期米
▲五日前場　大阪天候晴天前寄十四圓九十七錢と昨止より一錢安の入電二節九十九錢の移大阪十六節九十三錢と安移し引返し九十九錢…

仁川米豆取引所仲買人　利　仲買店

▲前場小波瀾
市場零聞

直に賣物を呼び十八錢と急激の立
▲前場の手振
強硬の成行を存して小波瀾裡に
▲依然强硬
正米は强硬
金買氣を刺戟
象は逆行の奇現
極力賣壓に努
▲天候不良
▲期米强弱觀
新米出廻る限月で十月限は早場所
日本米の逆輸入を見る程度に迄割高を買ひ
憂へ前途頗る
倘二四箇月の眞の端境迄
後日の反撥を大
仁川米豆取引所　五日の十月限
賣買取組高
小賣白米

朝鮮總督府許可
人參エキス
人蔘直引大販賣所
京城朝鮮名産人蔘藥業一切　人蔘エキス製造發賣元
一丁目　津村兄弟商會　電話一四八三番　振替京城三五二番
特約店　北島藥房　古城藥房　廣岡藥房　松屋阿部藥房
内用精能効　外用精能効

遊漁船　御案内
釣道具　御小賣　仁川海岸町三丁目角　芹川漁具店　電話七五四番

龍山步兵第七十八聯隊門鑑壹個　門鑑紛失廣告
右ハ七月三十日午後二時頃青坡町通り陸軍兵器支廠前左記の街路に於て紛失す御拾得の方は左記の所へ御知せ被下度奉願上候（但し相當の謝禮す）
嶋屋本店

御旅行用　輕便無比　御使用者に好評　鞄　
東京市芝區伏見町　鞄製造　内田問屋

嶋屋特製　みそ味噌
製造販賣元　嶋屋本店　電話二三三〇番

内科小兒科　入院隨意（普通病室並に隔離病室）
京城旭町一丁目　小林醫院　醫學士　小林千詩　電話六九二番

現代家庭の寵兒桃太郎蓄音器生る!!!
（大）一臺　金拾五圓也
（小）一臺　金十圓也
（兩面音譜）一枚金一二十錢
目錄贈呈
京城本町　日本蓄音器商會

官許　飲料氷
大同江上流にて採取せし堅氷なり
在庫約三十五萬貫
八月十日迄平壤渡十貫に付金五十錢
平壤櫻町三番地　三榮社氷販賣部　電話七一二番　電略（ミエ）

醫科大學病院御用　純良　赤門葡萄酒
滋養補血ニハ赤門葡萄酒ニ限ル
朝鮮代理店
京城　新井大藥房　電話九〇四番　振替京城一〇六番
同　明治屋
平壤　森田藥舖　電話一二九番　振替京城四四番
仁川　井上商店　電話八六番
釜山　本嘉納釜山倉庫部　電話三一番
同　あつまや　電話三五八番

八月六日午後七時より開會
京城本町一丁目有樂館に於て
中尾都山師歡迎三曲合奏會
會費　特一圓　普五十錢

夏は一寸した病氣も御用心が肝心
贊化堂にはよい薬がある事を常々から御承知下さい
京城本町二丁目角　古城贊化堂　電話一〇二番　振替七三七番

旅館開業
調理新鮮、寢具清潔、待遇懇切
京義線平壤驛向角
松岡支店改　平壤館　電話二九番

宮本武藏

第百二十回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

三輪屋雲井こと岡崎の娘お雪が、宮本武藏を騎射の時に餘所乍ら見て、標緻といひ技倆といひ天晴武士の手本といふのは宮本先生の事であらうと、色氣ではないが思ひました、父織部が亡き後も密に胸の中に秘して忘れぬは宮本武藏の事、惟上の諸親が喧しくなるに連れて愈々武藏を慕ひ什麽かして宮本様に逢ひたい、逢つて一伍一什の話しもしたなら事なら父織部の仇長家傳八郎を討つに就いて助太刀をして貰ひたいと考へて居りました、之が戀ならぬ戀といふので、所が今度不圖宮本といふ噂を聞いて飛立つ計りに喜び、武藏を呼び立てましたのも實は此事を頼みたい計りでございます、所が逢つて見れば武藏といふ人は親切な人で、望んで助太刀をしてやらうといふ親切な言葉に涙を濺して喜んだ雲井が茲に岡崎織部横死の次第を細々物語りました、其次第といふのは前回に申上げました藝州廣島の城主四十二萬石淺野安藝守光晟侯の家中三百石を頂戴し八條流馬術指南番を勤める長束傳八郎といふ人物がある、家老の西尾孫左衞門といふ人が長束を大變贔負にして居ります、此孫左衞門が馬を求めたに依つて宮本と長束が口論をし、遂に御前に於て騎射をいたしました、之れは前に申上げてありますから大略いたします、所が其後上田主水といふ御家老が老病に犯されて政事が執れないソコで一國の政事は淺野甲斐、西尾孫左衞門の兩人が相議して取計らつて居ります、所が廣島の城の石垣が破損いたしました稍多門なども大分損じて見苦しくなつた、ソコで西尾孫左衞門が諸侯へ修理をいたしたいと申上げた、光晟侯御尤もと思召し西尾孫左衞門に命じて改築修理をさせる事になりました、西尾孫左衞門が就ては當城の繩張に意を得ない所があるから手入序に櫓石垣などを改築したいといふ考へソコで費用を計算して見ると總體で七十五萬兩の金が懸る、茲で明細書を書いて殿様へ御覽に入れると宜きに致せといふ仰せ、茲で西尾孫左衞門が改築をするといふ事になつた、尤とも淺野甲斐といふ人は江戸家老で國には居りません、改築の事を聞いて驚いた上田主水、容易ならん事と病中であるが太守御前へ出でお目通りいたし『主、此度承はれば當城破損に付き御改築との事、甚だ以つて御意を得ず、當城は毛利元就以來の居城にして繩張りの結構なる事申すに及ばず、今更改築の必要もございません、第一莫大の金子も懸る事、一體西尾孫左衞門は費用の儀は何萬兩と申上げましたか、光、七十五萬兩と申した『イヤ其れは容易ならん次第、孫左衞門の申す所莫大な金子を投じ城普請する必要もございません此儀平に御無用に遊ばせ』といつて意見をした光晟侯左様かと仰しやつて外ならん上田主水の言葉であるから城改築の儀は見合せるやうにと御沙汰になつた、西尾孫左衞門之れを聞いて可怪しく思ひ、既に諸子を省べると上田主水老人が意見をしたといふ、烈火の如く怒つた孫左衞門憎くい奴に上田の爺と大屑主水を恨らみましたけれども仕方がない然るに翌年上田主水老病に依つて卒去いたし子息采女が家督相續をする茲で亦々西尾孫左衞門が城改築を申し出でました、茲に同藩の弓術師範指南番を勤める、岡崎織部といふ人物は人は北條流の軍學を能くいたします、上田主水と親しくして居りました人で、再度西尾が城改築を申出したと聞いた太守にお目通を願ひ織部『先年西尾殿より改築申出でました時、上田主水殿存意を申上げ一旦御沙汰止みと相成りましたが再たび西尾より改築の儀を申出でましたる由既に上田殿より申上げましたる如く石垣城櫓が損じいたしましたとて少々の事改築などには及びません次第、殊に毛利公以來の名城繩張りに些少の手落もなく、第一今更城普請をないたしましては公儀御聞及びも憚りあり加藤福島などの例しもあり、此儀は平に御沙汰止めを願ひ奉つる』と強て諫めましたが之が基となつて岡崎織部遂に災禍に罹るといふ廣島城内御城論の一條。

外科一般 皮膚科
泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九番

パンは木村屋
木村屋パンの
味のよいことうまいこと
（京城明治町 電話二八七）

八月七日九星
舊七月九日 丙子
本命九紫 南 取 先負

[illegible]

△最も進歩せる家庭治療藥の出現▽

吾國に於ける民間治療藥の多くは、皆全く無害無効主義の法規に囚はれ、其弊のみ大にして内容之に添はず、徒に射利的賣藥業者の跋扈跳梁を擅にせしむるのみで、更に時代の推移と伴はないのは、誠に遺憾の極みである。茲に於てか吾が商會は、啓て民間治療界の革新を企圖し、完全なる家庭治療藥を創製せんが爲に、專ら斯道の化學者をして研究に着手せしめしより、茲に四閲年。

獨逸ベルリン醫科大學内科教授 ライデン先生
同 内科教授 グルハルト先生
同 内科教授 ゼナートール先生
同 内科教授 ヒス先生
同 内科教授 クラウス先生
同 小兒科教授 ホイブネル先生
同 外科教授 ベーアグマン先生
同 外科教授 キョーニヒ先生
同 外科教授 ビール先生
同 外科教授 ヒルデブラント先生
同 整形外科教授 ヨアヒムスタール先生
同 耳科教授 ルーツェ先生
同 耳科教授 パッソー先生
同 鼻咽喉科教授 フレンケル先生
同 眼科クリニーク長 グレーツフ先生
同 婦人科教授 オルスハウゼン先生
同 産科教授 ブンム先生
同 教授 クローネル先生
同 婦人科産科教授 グッセロウ先生
同 皮膚科教授 レッセル先生
同 神經科教授 チーニン先生
東京醫科大學教授醫學博士 佐藤三吉先生
同教授醫學博士 山極勝三郎先生
同教授醫學博士 入澤達吉先生
同助教授醫學博士 土肥慶造先生
京都醫科大學教授醫學博士 吉井丑三郎先生
教授醫學博士 松浦有志太郎先生
九州醫科大學教授醫學博士 旭憲吉先生
醫學博士 石川貞吉先生
醫學博士 二木謙三先生
醫學博士 南大曹先生
醫學博士 三輪信太郎先生
醫學博士 鹽田廣重先生
醫學博士 青山徹藏先生
醫學博士 茂木藏之助先生
醫學博士 安妻勝剛先生
醫學博士 大石貞夫先生
醫學博士 小川劍三郎先生
醫學博士 岡村龍彦先生
醫學博士 岩田一先生
醫學博士 山田弘倫先生
醫學博士 志立富松先生
醫學博士 田中友治先生
醫學博士 筒井八百珠先生
醫學博士 佐藤進先生
醫學博士 緒方十右衞門先生
醫學博士 佐藤勤也先生
醫學博士 長尾美知先生
醫學博士 河本重次郎先生
醫學博士 額田豐先生
醫學博士 菅井竹吉先生

等を始め此他東西醫藥學大家六十三大博士の學說を根據とし、東京、京都、九州の三醫科大學及び各府縣立病院等の處方、製劑録を始めとし、現時世界に存在せる有らゆる家庭藥の處方を集め、緻密なる學理的研究と、嚴密なる臨牀的實驗とを續け、幾多の犧牲を拂ひ、幾多の研鑽を經て遂に之を完成し、茲に諸君に提供するを得るに到つたのである。

されば從來の無害無効主義に囚はれたる賣藥とは全く其根底に於て類を異にし、普通民間に於て一般素人の、法律上絕對に購入する能はざる十數種の劇藥を、安全なる程度の範圍に於いて配劑し、法に鑑み規に照し、民間治療藥として最も安全有効に製出し、

朝鮮總督府警務總監部衞生試驗室に於て分拆御試驗の結果、適法有効と認定

せられ發賣を許可せられたるものゝみであつて、其作用の確實顯著なる、其効力の一定不變なる、眞に最新最良の理想的模範家庭藥である。

吾が家庭藥は、徹頭徹尾効力本位であつて、製劑原料の如き、如何なる高價なるも厭はず採用し、貯藏に堪へ効力を不變ならしむる爲め、包裝には嚴重なる用意を施しあるも、容器の體裁などは全く省き、販賣價格は極度まで低下し、專ら需要者諸君の滿足を圖るを以て本旨として居るのである。

下痢の烈しい時、便通の無い時、腹痛の起つた時、腹中に虫の寄生した時、寒冒を引いた時、頭痛、眩暈のする時、熱病に罹つた時、頭や手足腰などの痛み出した時、火傷をした時、怪我をした時、眼病に罹つた時、傳染病の流行時などに、直に急に應じ得る樣、如何なる家庭にも、必須缺くべからざる、內用藥五種、外用藥三種、都合八種の藥劑を一組として、正價を以つて諸君の御要求に應じます。

●家庭常備藥壹組の內容

健胃強腸 ベントリクリーミン（正價 六十包入 三十錢）
急性慢性胃加答兒（食傷、溜飲、痰飲）消化不良（胃弱）胃痛（胃脘痛）腸加答兒（泄瀉）腸痛（疝氣）等卽ち食ひ過ぎた時、飲み過ぎた時、食あたり、腹痛の時、何となく胸惡く口中に生水の逆る時吐き下しの時など胃腸に障害の起つた場合は直ちに本劑を服用するのです、最も迅速に卓効が顯はれます。

強腸止瀉 タンナルビス（正價 六十包入 三十五錢）
本劑は急性慢性腸加答兒（霍亂、泄瀉）下痢性腸加答兒等の下痢を止むるに卓効があります。腸結核（鷄鳴下痢）しぶりはら）等、凡て、下痢止として之れ以上の藥劑は他にないと言つても宜い程で如何なる家庭にも必ず備へ置かざるべからざる良藥であります。

緩下新劑 オブスタリン（正價 六十包入 二十錢）
本劑は便秘に通じの惡い時に服用すれば消化器を害せずに快く通じます。下劑として理想的の良藥です。持狭に用ひても卓効があります。

驅虫新劑 アスカリン（正價 六十包入 二十五錢）
本劑は蛔虫（蚘虫、圓虫）の驅除に最も確實な効力があります。其他蟯虫の驅除にも有効です。虫が御腹に生じた場合は此の確効ある虫下しを早速御服用なさい。

解熱鎭痛 アセタリン（正價 六十包入 二十錢）
感冒（風邪、傷風、胃風、邪熱、虛熱、血熱）流行性感冒（インフルエンザ、天行中風）偏頭痛（半頭風）神經痛、關節僂麻質斯（腦氣筋疼、痛風）咳嗽（百日咳、疫咳）高熱ある肺炎（肺腔發炎）肺熱妄喘、痰氣結胸、肺癆、肺結核（肺癆、內傷勞症）等の熱性諸病の下熱用として、又、頭痛、神經痛、リウマチスなどの鎭痛藥として缺くべからざる良藥であります。

消毒殺菌 撒硼酸（正價 二十五錢）
本劑は無害強力なる殺菌、防腐、消毒劑でありますから、口內病の含嗽用、膣及子宮の洗滌用、創傷、膿腫、皮膚病の洗滌用、下疳、梅毒潰瘍、包皮炎等有らゆる消毒防腐的洗滌に用ひて最も確實なる効力があります、痰吐や唾壺などに本劑を用ふる時には、恐るべき傳染病毒の感染を豫防する事が出來ます。

防腐軟膏（正價 十五錢）
本劑は、創傷、擦過傷、表皮剝離、皮膚潰瘍、火傷、凍傷、龜裂、皸裂、凍瘡、漆瘡（うるしかぶれ）小瘡、濕疹など應用の範圍廣き外用藥で如何なる家庭にも常に備へ置くべき良藥であります。

筒井氏方 點眼水（正價 二十錢）
本劑は、加答兒性結膜炎、結膜春期加答兒（發芽性結膜炎）、結膜充血（眼炎）流行性眼炎、はやり目、つかれ目、やみ目、ち目、やに目、火眼、風火眼、淚火眼、晴衣發炎、天行赤眼）顆粒性結膜炎（トラホーム）、眼瞼縁炎、眼瞼腫脹、眼蓋生砂粒、瞼生風粟、眼胞性米粒瘡など眼病諸症に卓絶なる効力があります。

右の外用參種、內用五種合計八種類は如何なる家庭にも常備藥として缺くべからざるものゝみでありますから此八方藥を壹組として發行します。

正價 一組八種 金壹圓七拾錢

であります。此外、齒痛藥、養毛藥、あせもの藥、腋臭藥、呼吸器病藥、婦人病藥等數十種ありますから、右の中、驅虫劑を呼吸器病藥に、或は下劑を汗疹の藥に、或は目藥を齒藥にと云ふ風に取り代へて御請求になつても宜しい。又右一組中、或種の藥を省き他の藥を數多く御請求になつても宜しい。

特價提供

（壹組若くは價格壹圓五拾錢以上の御注文者に限る）

本月十五日までに御注文の諸彥に限り『暑中御見舞の微衷を表する爲』特に正價の一割を減じ尙小包送料は當方の負擔として御要請に應じます。十五日以後は斷然正價に復します。

●注意

射利的賣藥屋に瞞著せらるゝ勿れ

古來誇大なる事の比喩に藥の廣告の如しとの言あり、之れ藥界裏面の一端を穿てる實際なり。嘗て世界に誇るべき花柳病藥として各地の新聞紙に廣告せられつゝある某商會製藥の効力一件につき吾がドラッグ商會と同店との間に端無く一大紛爭起り大阪控訴院に於て京都醫科大學病院、九州醫科大學病院を始め各府縣立病院等全國官公立十五大病院よりの回答書類及志立醫學博士旭憲吉先生等各大學教授醫學博士、田村醫學博士を始め九州醫科大學の著書によりて辯論せられたるの結果公明正大なる判決ありて吾がドラッグ商會の全勝に歸したる事は京阪數多の藥業新聞を始め全國各地の新聞紙上に掲せられたれば讀者諸君は先刻御承知の事ならん。見よ藥界の廣告の如き稀には正直なるものゝきにあらざれども中には大家の氏名を盜用して學者より訴へらるゝもあり或は無稽の妄說を掲げて其筋より罰せらるゝもあり。斯かる極端なる例は措いて問はずもがな彼の金力によりて博士大家の名を利用せるが如き如何はしき千百の證明等夫れ幾許の價値かある、廣告には初號活字の表題を以て學理上不治の難症と公認せられある疾病をも必ず全治すと吹聽す之れ古來誇大の比喩に藥の廣告を以てせらるゝ所謂なり。患者諸君よ廣告には如何に博士の方劑と言ひ大家の發見と稱するとも世界文明國の最高學府卽ち吾が日本の大學病院等に於て之れが効力を認めずとして使用せざるのみならず大學諸教授の眼中に無きが如き藥劑の効力如何は諸彥が常識の判斷に俟つべきのみ、吾が商會は啻に卓越せる藥劑の實効に倚賴し決して山師的誇大誇張の廣告を爲さず。花柳病患者諸君よりの全快禮狀の如きは眞に机上積んで山を成せども營利の手段に之れを用ふるが如きは患者諸君の名譽を尊重するの道に悖るを想ひ一切を省略せり、讀者諸君請ふ諒せられん事を。

●注意 射利的賣藥屋に瞞著せらるゝ勿れ

京城南大門外停車場通

ドラッグ商會家庭藥部

長電 電二五六七番
振替 京城四六七七番

京城日報　第三版

六日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行所 京城日報社　發行兼編輯人 小川三之介　印刷人 奥田直吉

京城論壇
吾輩の趣味觀
水越理庸

趣味といふものは人生に取つて必須缺ぐ可からざるものである。自己の職業が一番樂しく如何なるものも之に越さぬと云ふ者は格別とし、普通の人は自己の職業以外に何等かの道樂若しくは趣味を持つてゐるものである、而して自分は之は決して無駄なことで無く極めて必要なものであると思ふ。趣味が如何なる意味に於て必要であるかといふに、自分の經驗に依ると精神の轉換を計る上に於て必適のものであると考へる。精神の轉換といふことは獨り職業を執る者のみでなく學生に對しても亦甚だ必要なことであつて、人間が職業又は學問の爲めに身神の疲勞を感じた際、之れを慰藉する方法は種々あるもだらうが、たゞ漠然休息するよりも一轉して趣味に移れば其處に精神の轉換を得て更に思慮を新にし、精力を快復して再び其の仕事に適進することが出來る。實驗の一例を擧げると自分は大學時代茶道を嗜む人の宅に居たのであつたが試驗前などの如く一生懸命勉强せねばならぬ時、疲勞を覺ねて來ると能く茶席に出て遊むだことがあつた、斯樣な際にはボンヤリ休息してゐると勉强てふことが念頭を去らぬため兎角筆が引き立たぬものであるが、一度茶席に出ると神氣忽ち一變して胸中また法律なく經濟なく全然今迄の事を忘れて茶事を樂しむことが出來る、之れ即ち精神の轉換であつて再び机に向つた時は神身頓に回復し新なる勇氣と新なる思慮とに依つて思ひの儘に勉强を續けることが出來るのであつた右の樣な次第であるから自分は趣味てふものは職業に於ても勉學に在つてもそれを助成する上に於て極めて必要なものであると信じてゐる。併し趣味が必要であると同時に之れに耽溺するといふことは愼まねばならぬ、處で若しそれに沒頭して仕舞ふと隨分の弊害が現はれるものである。自分の知つた人の中にも學生時代に於て餘り碁に耽つた爲遂に學校を落ちたり、茶道に凝つて商業の運轉資金まで消費して仕舞たものがある。

却説趣味の必要なことは判つたが、さらば如何なる趣味を選擇すべきかといふと、第一衛生に適するものでなくてはならぬ、而して下劣なものを遠ざけ上品なものを求めなくてはならぬ、斯くして選むだ趣味は常に有益であり幸福であつて何の弊害をも遺す憂は無い、第二に趣味は出來得る限り廣く且つ大ならむことを心掛ける事が大事である。趣味の廣く大きなことは人生に取つては極めて仕合せなことである。趣味といふものは假令其れが上手であらうが下手であらうが一樣に樂しむことが出來るものである。彼の細川侯は痛く謠曲を嗜まれ、故五世九郎に就いて寶生流の組奧を極めた方であるが、苟くも謠曲と仕舞といへば其の上手と下手とを論せず必ず之を傾聽し、次きの番組まで指定して樂まれたさうである、自分も同郎に伺つた事もあるが、侯は常に素人は如何しても玄人程に上達するものでない、併し素人は之を樂みにやるので下手は下手なりに面白い味があると語つてゐられた。之は尤もな次第で酒席杯でも上手な唄を聞くは素より愉快であるが、下手な唄も亦滑稽な處に趣なからぬ興味を覺ねると同樣であると思ふ。然るに趣味を持たぬ人は之れを聞いて更に面白味を感ずることが出來ず、無用の時間を費し、不愉快な思を忍ばなくてはならぬ、無趣味なところなら行かねばいゝ樣なものであるが社交上辭む譯には參らぬことがある、親類丈けに二段聞きといふ謠もあつて趣味の狹いといふことは其の人に取つて甚だ損であり不幸であるから、趣味は成る可く廣く且つ大ならむことに努めなくてはならぬ。

自分は趣味を二つに大別する事が出來ると思ふ、一は他人の藝術を見聞して樂しみ、一は自己其のものが藝術に遊ぶことである、此の二種に就いて詳言すると大分長くなるから前者のみを述べることゝする、先づ藝術に對する自分の感想を紹介すれば一般の藝術殊に日本の藝術には終始一貫した合致點を見出す事が出來る、語を換へていへば藝術には何れのものにも必ず腹がある、擊劍柔術の如き武藝をはじめ歌舞音曲、さては茶の湯、活花に至るまで其處には總て腹がなくては駄目である、之が即ち一番の點であつて名人の藝には最もよく腹を發揮し、腹藝の巧みなるものは必ず斯道の名人である。

腹藝の最も判り易いものは演劇であるが、古今の名人と謂はれた故團十郎の如きは家康なり清正なり扮した役其の者の精神氣魄を玩味し、之を自己の腹中に盛むで藝をするのであるから觀客は全く役者たることを忘れて藝術其の物と融合し、或は直ちに家康に接し或は清正を見るの心地がする、之れ即ち役者に腹のある所以であつて吾々が芝居を觀るは一に此の腹藝を見むとする爲めである、然るに殘念ながら今日では斯ういふ腹藝を見ることが出來なくなつた、目下名優と稱す可きものを物色すれば團次郎位のものであらうと思ふが、彼は技工の點に於ては團十郎に劣らぬかも知れぬけれども、腹藝と同時に其工夫に至つては到底及ぶ處でない。單に芝居に限らず近來の藝術界は如何も名人に乏しい樣である。自分はまた能が好きであるが九郎、寶生などの老いた以來、斯道にも矢張り名人が尠くなつた樣に思はれる併し能樂では總て腹といふ事を非常に矢釜しく謂ふ爲め、假令名人が分らなくても腹藝は未だ〳〵充分味ふことが出來る、自分が能を好むことの一は全く此の爲めである。藝道に名人の缺乏を感じると同時に東部を離れて地方に住む人士は上手の藝すら容易に見得る機會がないから、他人の藝を見て趣味を滿足させるといふことは到底不可能である。故に自分はたゞ古人の藝術を樂むの外はない、と考へてゐる。

古人の藝術中、自分を樂ましむるのは第一書畫である、書畫は筆者の人格、性行、技能、風丰等より其の事業迄をも想見することが出來、所謂其の筆に依つて人格の表現を窺ふことを得るので換言すれば其の人の腹が見はるのであるから非常に愉快である。從つて自分は商賈的の書畫には餘り趣味を感じないが人格の優秀な人の筆に接するに於ては實に快感を覺ねざるを得ぬものである、例へば山陽の書を見ると縦横の才氣面に溢れ、南洲は滿々たる覇氣筆端に迸る、而して竹田の畫に至つては飄氣なく又衒氣なく圓熟した學識と練達した技能を彷彿せしめてある、但し畫は書に比し一層其の筆者の人格を明瞭に表現するが常であるから自分は書よりも寧ろ畫に對して深い趣味を持つてゐる、從つて畫でも亦此の意味を窺ふに足るものが好きで畫畫などは却て面白く感ぜられる、蘇東坡が其の師文與可の墨竹の畫を見て胸中成竹ありと謂したのは文の竹は筆で畫いてあるが、それは胸中の竹が筆端に現はれ其の人格と竹とが一致したのであつて即ち腹藝の表現であることを説破したものである。此の見地からして吾々は近來の畫家中には往々色を塗り立て世人の嗜好に投ぜんことにのみ汲々たるものが多い樣に思ふのであるが、斯んな畫は臭氣紛々として到底見るに堪へぬ他人の嗜好に投ずることを目的とし自己の人格を沒却するが如きは繪畫として取扱ふには足らぬものである之れよりも寧ろ素人が何等求むる處なく思ひの儘に畫き爲した畫は其の人の眞性人格等を遺憾なく表現するから却つて面白く感ぜられる、極端な樣ではあるが自分は所謂畫家の畫いた畫よりは子供の畫いたもの、方が好きである、子供の畫は形に於ては實に奇妙、奇體であるけれども、其處に天眞爛漫たる子供の性情が躍如として現はれてゐる。形や色彩は繪畫としては素より大切であり又た必要なものであらうが其れは附隨條件であつて此を以て直ちに繪畫の眞價を論ずることは出來ぬ。

次は道具若くは竹葉の趣味であるが之れ亦書畫と同樣其の製作品は作者の人格を現はし又た其の精神氣魄を見ることを得、延いては製作時代に於ける文明を窺ふことに依つて自分達を樂ましめるものである、簡單な茶杓の如きものに在つても之を玩味すると利休の作は利休を偲ばせ、遠州の作は遠州を髣髴せしめてゐる、茶杓一本すら既に此の通りであるから、入念の作品に至つては優に當時の文明を知り、作者の意匠考案を窺はしめて宛然其人と對談するの感を懷かさせる、斯樣な道具は實に趣味があり古人も能く之れを樂むだもので岩城文淋の茶壺は岩城一國に代へ、幡山茶壺は佐久間信盛が幡山一萬石の增知を辭して延長に之を請ふたのが傳へられてゐる、又た刀劍に至つては自分には能くは判らぬけれども此の意味に於て作者の人格を最も能く表現してゐることゝ思ふ、何しろ之を鍛へるには精進潔齋してかゝるのであるから其の道を研究すれば餘程趣味あるものに相違ない、自分は此の方面に就いても今後大に研究して見度いと考へてゐる。

最後に一言し度い事がある、それは書畫骨董乃至刀劍などは世間では非常に高價なものゝ如く考へてゐる樣であるが、殊に兎角伊達家の秘藏品を競賣に附した際第一回は百萬圓、第二回は四十萬圓の價格に上つたとて世人は驚異の眼を刮り如何にも馬鹿氣た高價の樣に噂せられたのであつたが、自分の鑑定に依ると其れとは全く反對で如何にも安價のものである。伊達家では何時頃之れ等の品を手に入れられたかは知らぬが恐らく二百年若くは百年以後のものは無いであらう、假りに總ての品物を百年前に買ひ込まれたとし、且つ其の買入れた金の利廻りが最も低率な五分であつたとすると、百年を經れば其利子は元金の百三十一倍となるから一二回を通じての競賣價額百四十萬圓の元金は僅に一萬圓餘のものである、若し之れが二百年間を經たものとすれば其の利子は元金に對して一萬七千二百九十三倍となり又た三百年とすると二百[illegible]萬三千九百廿四倍となる、故に二百年間では元金は百圓未滿となり、三百年間とすれば五十錢未滿に過ぎぬことゝなる。若し伊達家にして之を書畫骨董に代へず、金の儘に貯蓄したならば今日では非常な巨額に達してゐるに相違ない、此の點から計算すると今日の骨董價格は甚だ安價であつて伊達家の競賣杯も寧ろ馬鹿らしく低價なものであるといふことが出來る。

米國と支那（四）
戰後の經濟的活動

三　米支汽船計畫

▽經過　米支汽船會社は支那全國商務總會聯合大會の議に上り其計畫として五百萬元を以て一萬噸級の商船四隻を造る事とし、資本は米支實業家の醵出によると爲したること既説の如し、其後聞く所によれば先般解散したる米國太平洋汽船會社の持船を讓受け、支那國旗の下に米支間の航海を昨年末より開始したりと北京駐箚米國總領事館が本春報告したる所によれば紐育のガストン、ウイリヤムス、エンド、ウイグモア商會は五百萬弗の資本を以て一汽船會社を設立し太平洋及び太西洋の航運業に從事すべき旨本年二月發表せりと云ふ、右汽船會社はガストン、ウイリヤムス、エンド、ウイグモア汽船會社と稱すべく、初めは主に桑港と日本を通じ、支那各港及び浦鹽に至る航路に從事すべく同社は既に該航路に使用する左記六隻の汽船を購入せりと云ふ

ヴーヂニア	四、三〇〇噸	エスカツニ	二、七六一噸
ゼロード、ガ			
フエリン	四、三四〇	メーランド	四、三五三
カロツソン	二、四四一	オ、エツチ、ブラウン	未詳

右船舶は皆貨物船にして旅客輸送に適せざるものなれども將來太西洋方面にも航路を開始し旅客輸送に適する船舶をも使用する計畫なりと云ふ右會社の社長には前記商會社長ガストン氏就任すべく其他重役も多くは同商會の役員にして同汽船會社の株券は悉く其關係者にて引受け廣く市場には賣出さゞる趣なり

四　滙河水利事業

▽其沿革　支那に頻發する水害之に伴ふ飢饉に對し、從來米國赤十字社は少なからざる救濟費を寄附し被害者の救助をなしたり、然るに實際的なる米國人は災厄の起れる後に之を救濟するよりは寧ろ洪水の氾濫を豫防するに若かずと爲し、洪水の源たる滙河の現狀を調査せしむることゝせり、即ち米國赤十字社はシー、デー、ジェームソン氏を派遣して豫防工事の果して可能なりや否やを視察せしめたるに同氏は其可能なるを復命したるを以て千九百十二年の末農商務總長を主任とする新局の支那に設置せらるゝあり、越て千九百十三年早々支那政府と駐支米國公使との間に本件に關する假契約成立せり、ジェームソン氏は技師派遣を本國赤十字社に要求せんが爲め先づ歸國したるが、果して千九百十三年六月末十七名の技師隊米國より上海に著せり、該技師隊は多くは巴奈馬運河開鑿工事に盡力したる人々にして就中隊長シバート大佐は米國政府より特に派遣せられし人にて殆ど天才的技術家と認められ巴奈馬工事中にも殊功を樹てたる人なり、其他米國水利局技師長にして現職の儘五箇月の休暇を與へて國務卿の派遣したるデビス氏あり又動水工學の泰斗ミード博士もありたり

▽計畫の内容　本計畫の内容は一九一三年一月三十日調印を了したる契約書に明かなるが（一）先づ滙河流域にては河南省信陽州より起り息縣を經て安徽省霍邱縣に入り更に鳳台縣懷遠縣を過ぎ洪澤湖に入り五河縣より大運河に結付くもの、及び其間會合せる諸支流の睢河、渦河、淝水、澮河等を含むものとす、而して其出路は一は淸河縣より安東縣を經て黄河流域を利用し海に入るもの、他の一は淸河縣より運河を利用して瓜州に出で揚子江に入らしむるものなり（二）宜河、洒河を開導して運河に達せしむること

右にて淺渫開導地域は約百萬エーカーにして此結果九百萬エーカーの地帶は一年二三回の收穫をなし得ることとなる見込なり、而して之が經費として先づ我が四千萬圓に相當する五分利付借款を起し尙不足の場合は更に追借の契約あり、借款擔保としては右地域一帶の地租歳入及び將來淺渫開導の結果增加せし收入及び新税捐を以てし尙不足の場合は支那政府歳入中より補塡し元利金額の支拂に支障なからしむべきを保證せり

雜林同人會第二回詠草
御歌所寄人井上通泰先生選

夕立（兼題）

天　佐々木信一
チグおひて大路にねむるから人の
夢おどろかす夕立の雨

地　丸野登
山ひとつあなたの村はてりながら
こなたのむらは夕立のする

地　白石貫嶼
うま人のこしを早むるから人にせ
まる夏野の夕立の雨

渡舟（兼題）

地　白石貫嶼
水ゆるき野川のわたしのる人のさ
すにまかせて舟よこたはる

蚊遣（兼題）

地　坪内孝
何事をかたり合ふらん蚊やり火の
もわたつことに人かけの見ゆ

人　夕立（兼題）

白石貫嶼
夕立のけふる野中にしつのをの牛
はしらせていそくかけ見ゆ

○

佐々木信一
せみとりの子らにかへりなうなか
して夕立すなりうふすみの森

佐野泰邦
夕立のわたりしあとか久方の雲井
にたかき虹のかけはし

佐野泰邦
六月のてる日になわし草も木もよ
みかへりたち夕立の雨

坪内孝
釣舟の苫ふくひまもなかりけりく
もあし早き夕立の雨

京日詩壇

○野居書情　横田天風
愛此郊村趣。翛然足卜居。客林適吾適。
空庭不容鏃。碧流穿巖至。白雲出壑
虚。藥欄香常滿。頑石苔自疎。鶴聲雨
霽後。花影月升初。煙嵐時變幻。絶奇
畫圖如。物外擲榮辱。詩酒忘毀譽。伏
櫪才雖老。恬澹樂有餘。世路多斯曠。
何緣木求魚。幽味人知否。閑補養生書。
評曰　高雅沈靜、一讀脱塵境

○湖樓餞春　笹島紫峯
風雨無情花忽摧。繁華如夢付黄埃。笛
聲斷續湖樓夕。欲餞徂春獨把杯。
評曰　風調撩人

○細雨　望月桂軒
滿丘新緑似春潮。杜宇啼過畫寂寥。明
浦淡州何處所。海門不見雨蕭蕭。
評曰　細雨實景極力寫出、明字淡字、殊見妙

○江亭話別　古城梅溪
江波拍岸帶離聲。堤柳含煙惹別情。此
日同人猥祖宴。誰知暗涙滴吟觥。
評曰　言情婉曲、咀味無窮

大阪期米特電（五日）
[illegible]
▲果然沸騰す
[illegible]
▲依然强硬
[illegible]

仁川米豆取引所
五日の十月限
寄付　十三圓二十五錢
止　十三圓二十七錢
賣買取組高
八月限　二萬五千八百石
九月限　二萬五千八百石
十月限　二萬二千石

三和高麗燒は宮内省御用の光榮に浴したり
香爐、花瓶、香盒、茶器、菓子器其他種々
三和高麗燒　朝鮮特產海老の精
海老の精は　風味佳良。滋養分豊富にして貯藏久しきに耐へ御土產として絶好の珍品に御座候
三和高麗燒元　海老の精發賣元
朝鮮鎭南浦　富田商會

京城專修學校教官　安達大壽計著
朝鮮總督府官廳受驗者必携
會話譯文速成　定價四十錢・送料六錢
本書は專ら朝鮮總督府及所屬官署に於て施行せらるゝ判任文官、雇員其他各試驗に應ぜんとする者の爲めに著述したるものにして受驗上必要なる朝鮮語の會話、譯語、譯文を網羅し且各種試驗の實例並に口頭の問題全部に就き模範的の解答を施せり。官途受驗者に對する絶好無二の良書なりと信ず。
發行元　京城本町一丁目　振替京城二五七三番　大阪屋號書店

金物　電氣商　巴商行・巴商行
京城電氣株式會社製品　コールター手販賣
（石材販賣）
京城黄金町三丁目（永樂町東入）
樋口米太郎　電話四二〇四番
鑄物工場
大阪久保田鐵工所代理
東京神奈川電氣株式會社代理
電氣部　電話京城一四二五番

◎銀行會社商店員養成の最大速成通信教授
最新　銀行會社事務講習錄
就職難を歎ずる勿れ、最も安全なる立身出世の途は開かれたり。本會は實業家養成唯一の機關にして、職業の餘暇に自由に獨習が出來得目下特典提供入會の好機也
東京牛込西五軒町　振替東京三三一九三
銀行會社事務講習會

急告
頃日來弊商店員と稱し各地に行商、注文取廻り居る者有之候由御得意樣の御注意を煩はし候が弊商店は右樣の事實は毫も無之候に付き此段廣告仕り候也
京城本町二丁目
織居商店
電話長二六二番　三三九番

英算簿記講習錄
第十五回新學期開始　業者は銀行、會社、商店へ就職
東京芝區榮町　大日本通信學院

▲滋養と飲料▼
人參湯は如何なる使命を帶びて出現せしか其の偉大なる使命乞ふ
之を使用して始めて其の偉力あるを知らるへし
毎日配達の人參湯一合金六錢

御注意
人參湯中に含有せる甘味は世に有觸れたる砂糖若しくは飴等を混入したるものにあらずして弊堂獨得の最も進歩したる科學的製出法に依て植物性より採取したる理想的のものなり
人參精　價　十五入 、八〇　三十五入 二、〇〇　二十五入 一、五〇　四十五入 二、五〇

京城明治町二丁目
官許人參精製造本舗
藤原參精堂
電話二四九六番　振替京城三二五三番

◎日露物産博覽會

莫斯科日露協會の開催方針

莫斯科に於て創設せられたる日露協會は日露兩國間に於て今後に貿易せらる可き産物の博覽會を開催する方針なりと（露都電報）

◎復辟計畫嚴罰電告

蒙匪が宗社黨と關係あるより前清帝は爲めに不測の嫌疑を招かん事を懼れ醇親王の名を以て張將軍に對し前清帝の退位は自願に出で斷じて復辟の意なし若し復辟を計畫するの亂民あらば其の滿漢たるを論せず嚴罰せよと電告せり（奉天特電）

◎支那國會開議準備

目下參集の兩院議員は已に過半數以上に達したるが各方面共暫く政黨を組織せざるに依り此れ等議員の諸問題に對する意見を一致せしむる手續を取る必要上四日午前第二回茶話會を開き其結果各自より四名乃至五名の代表者を選び各省選出議員の意見を纏めたる上新たに院外團は會を開き前項議員の意見を豫め纏め正式會議の準備を爲す方法を取るに決したり（北京電報）

◎段內閣反對緩和

南方各派領袖の入閣により段內閣に對する反對の形勢漸く緩和せらるゝに至れり若し段內閣にして居据りとなれば副總統は岑春煊徐世昌兩氏の中ならんと（北京電報）

◎廣東戰爭と邦人避難

一日來石圍塘方面戰爭の爲め支那市街に流彈來り外人使用の支那人負傷す支那街居住の日本人は沙面に避難せり（北京電報）

◎珍田大使の稱讚

歐洲戰亂二週年に際し駐英大使珍田子爵はロイテル通信員と會談し聯合國は今や最後の決定を爲す可き重大なる時機の第一歩に入りつゝありと語り次で英國各階級男女の助力と彼等の捧ぐる貴重なる犠牲とを稱讚せり（倫敦電報）

◎敵を引寄せて撃退す

デルヴヰル森林に多大の損害を與ふ

ヘイグ將軍の報告に曰く、バゼンチンに於て我軍の占領したる地點に對しては爆彈攻撃を行ひたり優勢なる敵の四個分隊は前夜デルヴヰル森林を襲撃したるが我軍は先づ敵をして短距離に接近せしめたる後發砲し多大の損害を與へて之を撃退したり（倫敦電報）

◎露軍苦戰地點占領

露軍はスーコード河を渡りテルエベツコ山中の數個所を占領し猛烈なる市街戰の後ルトカミリンスカイアを占領せりコリトンツリに對する獨軍の攻撃は撃退され東部戰の大分部には砲戰のみ續行せり（桑港電報）

◎米國の丁領印度買收

條約調印發表さる

華盛頓來電に依れば米國が丁抹領西印度を二千五百萬弗にて買收するの條約調印せられたる旨公式に發表せられたり（紐育電報）

◎御差遣は九月か

閑院宮殿下露都御差遣は來る九月頃なる可しとの說あり（東京電報）

◎李王世子歸京

李王世子殿下には三島御用邸に御避暑中の處五日午後二時三十分東京驛著御召列車にて御歸京御出迎の文武官其他に御會釋ありて麻布御用邸に入らせられたり（東京電報）

◎園侯伊香保行

西園寺侯は五日午前六時上野驛發列車にて伊香保に赴き當分同地の別莊に滯在避暑すべしと（東京特電）

◎寺伯山公訪問

寺內伯は五日午前八時三十分山縣公を目白椿山莊に訪ひ會談約一時間にて辭去せり（東京特電）

□兩陛下行幸啓

天皇皇后兩陛下には豫て仰出されし如く日光田母澤御用邸に御避暑の爲め五日午前七時十分宮城御出門あらせらる此の日　天皇陛下には陸軍公式御軍服に大勳位菊花章御佩用侍從長御陪乘皇后陛下には純白の御洋裝に薄紫色のボンネットを戴かせ給ひ千種典侍御陪乘波多野宮相大森皇后大夫其他の供奉にて近衞儀仗兵の護衞により上野停車場に成らせられ奉送の爲め御先著の閑院宮同妃殿下、伏見若宮同妃殿下を始め奉り大山、東郷各大勳位、大隈首相以下各國務大臣、寺內總督其他文武百官の奉送を受けさせられ七時二十分御著驛御車寄にて御降車前記各皇族殿下に御對面七時四十分添田總裁の御先導にて御乘車御機嫌麗はしく御發車相成たり（東京特電）

◎陸軍准尉新設

陸軍にては准尉なる一階級を新設し准等官とし尉官の次に置くの議あり（東京電報）

◎横山章氏再起

金澤市選出代議士横山章氏は石川縣選擧無効と確定せば再び起つべく決意し居れりと（東京電報）

◎運動委員東上

三線連絡反對運動委員大連商業會議所代表者相生由太郎氏外二名及び市民代表者川上健三氏等四名五日商船會社汽船臺中丸にて門司經由東上せり尚石本鎭太郎氏は六日大連發鐵路安奉線にて東上の筈なり（門司電報）

◎英鐵輸出解禁

英國は曩に突如として鐵の輸出を禁止せしが其後帝國政府の交渉に依り鐵條、鐵竿、鐵板、鐵シートに限り英國政府の許可無くして輸出するも差支なきこととなれり英鐵の輸出解禁は誠に結構のことなれど英本國に於ける相場が內地の相場より遙かに高く且つ船腹關係もあり方英國に於ける需要は益々增加一方なるを以て輸出の許可を要せずして輸出し得ることゝなるも事實上英鐵の新規輸入は殆んど無しと謂ふべからず但し建築用材及び造船用板は其當の新規輸入を忍ぶに於ては若干の新規輸入は必ずしも困難ならざる可し是迄多量の新規輸入は決して望む可らず前餘の鐵材に至りては單に相場關係に於ても目先新規の商談の餘地無ければ內地相場には格段の影響無かるべしと

◎鐵價漸騰す

內地に於ける鐵價は前月中旬頃最も不振なりしが同月二十八日頃を機として形勢一變し從來十貫目に付き五圓見當に上騰し爾後益々騰貴の勢を示しつゝあり而して外國鐵價が高値を維持したるにも拘らず過日迄內地鐵價の下落せるは內地には是迄安値時代の輸入品あるに加へて實際に需要尠く且內地に於ける製鐵事業振興して産額增加はりたるに基因したるものにして全く一時的の現象に過ぎざりし也然るに今や海外よりの入著殆んど之れなく假りに入著あるも孰れも滿洲行のものにて日本市場に於て問屋の手許に渡るものなければ是迄買控へたる向も最近漸く買進むに至り此處に久しく沈衰せし市場も形勢一變して漸騰せるものなるが之れ當然の成行と云ふべし

◎本府技師增員

總督府にては酒稅令の施行に伴ひ技師一名增員の事となりしが八月二日附勅令第百九十二號を以て總督府技師定員の件中「十七人」を「二十八人」に改むるの件公布あり即日より施行したり

◎三監獄新營竣工期

前年より繼續的に施工中なる西大門、咸興、滿州三監獄の新營は何れも豫定通り進捗しつゝあるも豫算の關係にて其の工事に多く囚徒を使役しつゝある爲め工程存外捗取らず西大門は大正六年末咸興滿州二監獄は七年度に至らざれば竣成せざる可しと

◎監査士制度に就て（上）

東拓理事　村田俊彦氏談

過般東京の經濟調査會に於てなりしか監査士即ち英國に謂ふオーヂター或はチャータード、アッカウンタントの制度設置問題論せられ、委員は何れも其の必要を主唱し政府亦同意の行を語りたるやに聞けり。朝鮮に於ては其の必要なるや否やを論ず可き基だる會社そのものが未だ極めて尠きを以て此の問題に注目するもの甚だ稀なるが如きも、苟くも心を經濟界に留むる者は豫め攻究し置かざるべからず、又實際上其の制度を要求する時代早晩來るべきものなりと信ず。

監査士制度設置の問題は餘程以前より論ぜられ殊に其の聲を高めたるは明治四十一年頃なりしが、會社の破綻續出したりし時なりき。然るに其の後經濟界も順次靜穩に歸し、該制度亦實行上に幾多の困難ありしより喉元過ぎて熱さを忘れ、苦き議案は飲み度く無きものと何時とも無く聲を收め議會に建議案出る位にて遂に今日に及べるものなるが、鄙見としては成る可く速に其の實の現はれむことを希望す、先年歐洲に駐在を命ぜられし時井上侯より其取調を命せられ其必要を復命せしことあり但し其實施には方法もあるべし愼重を要す。

監査士制度が實施せられたればとて會社內部の非行が絶對に防止し得らるべきものにはあらず現に本制度の著しく發達せる英國等に在りても時々大繼續を暴露することであり、例へばウヰッテカーライト事件の如きこともあり、或る程度までは相當の効力を奏すること毫も疑を容れず。人或は計算の監査は業務の監査をならすと云ふも或程度までは業務の監査ともなり得るなり予が實驗上よりいふも嘗て日本興業銀行に在るや、社債信託の關係により日本製糖會社が困憊の域に陷りかけたる際その計算を檢査せしことありしが、計算の方法勘定の立て方等を見れば、若し監査士なるものありて常に正確に之を監査したりしならむには、此の如き非行は夙に發見され容易に斯る經濟的破綻を釀すまでには至らざりしものをと思ひたり。而かも此の思ひ最も切なるものあり。又昨年來問題となれる北濱銀行の如きも若し監査士ありて初より監査したりしならむには新聞紙上にて見る如き弊害は發せんと欲するも發し得ざりしなり。要するに監査士制度の必要なるは今や殆んど詳述を要せず、唯だ問題は適當なる監査士を得られ得るや否や。及び會社が監査士を迎ふるや否やの二つに在り。

◎勘定受渡と廻著米

仁川七月限りの定期受渡準備米は曾てなき石高大取引にして其期日迄に果して吸收し得べきや雲行急にして安危の分るゝ處此一戰に在りと觀測せられ沙上偶語を放つ者さへ有り形勢如何に變ならずや兎角寄ると觸ると此問題の持切りにして一は何れの方面より吸收するや一は果して結束鞏固なるやなど恐怖觀望を逞うするものもありて其眞想を窮つ能はざる狀態にありしが愈々當切の三十一日の期日に至りて賣買双方決意の存する處自ら明瞭となりて現はれ益に風樓に滿つの觀を呈せしめたり而して遂に賣買者共に精鋭の氣張るの武者振りを見せ互に負けず劣らず陸揚して退らざる退りに米穀當業者としての其誇りある面目を躍如たらしめたるは而して八月一日となるや取引所に於ては徐ろに倉調べを行ひ同日受渡に從事せるが此準備米は仁川驛の如何なる方面よりも廻著したるものは皮に稅關等にて扱はれたるものは左の各地より販收されたるものにして限りの期日迄の輸送力非常に增加し米穀の檢査後の荷捌きは叺の山を築き恰も東馬車人車の絡繹たるが如き盛觀を呈せり同月十五日より三十一日に至る十五日間の仁川驛及び稅關に到達したる米穀の總數は四萬八千七百六十一叺にして各地名別及び叺數左の如し

地名	叺數
大田	[illegible]
金泉	[illegible]
論山	[illegible]
[illegible]	[illegible]

以上の米穀が當業者の如何なる人に依りて取扱はれたるか尤も此中には精米用として廻著したるものもあれども大部分は受渡米なる事勿論にして其中不二興業會社最多を占め其他吉金奥田庄野力武辻川高田大和組等な…搗用にして檢印を有せざるは南浦米にして同地附近の中間驛より積み出されたるもの亦多く此中檢印を有するものは其僅少にして定州黃州水色沙里院開城鳥山水原沙里等各地には未だ檢査分布かれ居らざるを以て勿論檢印の有るべき筈なく其の他は悉く檢査證印を有し又水原沙里院等よりの廻著の東拓米にして大部分は優等上格品たる檢定を受け此外にも優良米多し仁川檢査所にては僅少の時日に於て斯く多數なる各地廻著米の輸移出檢査を勵行したるは稀有の盛況にして斯く多數の優良檢定を與へたるは漸次米穀調製上の改良普及せる現象として同所に於ては向後を觀測しつゝあるが如し（仁川）

◎鈴木局長歸任期

土地調査外業狀況視察の爲め北鮮地方に出張せる鈴木土地調査局長は六日午前八時南大門驛著汽車にて歸任の旨新義州稅關より其の筋に通知ありたり

◎敍位　（七月三十一日附）

敍正五位　從五位勳四等　柳澤佐五郎
　　　　　從五位勳五等　矢野久三郎
敍從五位　正六位勳六等　平山勘次
敍正六位（各通）　從六位勳六等　山內銀次郎
　　　　　從六位勳六等　齋藤宗四郎
正七位勳六等　渡邊慶次郎
正七位勳六等　橋本秀平
正七位勳六等　井上文司
正七位　高島五八
正七位　釜澤銓太郎
正七位　白諸鏞
敍從六位（各通）
從七位勳七等　保坂久松
從七位勳七等　山本尙郷
從七位　波野平四郎
敍正七位（各通）　正八位勳八等　京原大郎、古城七鴻、海福根、田中又郎、齋藤紀一郎、川宮又雄…
敍從七位（各通）　安慶善、朴光烈、…
敍正八位（各通）

人事消息

▲平野直敬氏（久留米…）五日天長…へ
▲奥村英一氏（東亞煙草會社…）五日…
▲水田權二氏（同社仁川販賣所長）同上
▲オールカー夫人、コーマン夫人（米國人）五日夜入京朝鮮ホテルへ

■南言北語

▲アニ高が知れて居るからと外國では氣にせぬ樣な姿をして居るけれど奉天の張督軍も今度の蒙匪には心中大に驚いて居るらしい▲其處で愈々大袈裟に討伐軍を發する模樣であるが討伐司令官に馮麟閣を出すと面白からう▲馮と匪魁巴布札布とは一時相策應して働いた事もあつたが第一革命の際馮は巴布札布の留守を襲つて燒討をした▲其處で巴布札布は激怒して今に見よと睚眦の怨を晴して見せると常に語つて居る相だから今度馮が出掛けたら巴布札布は必ず雌雄を決するに違ひない▲命がけの仕事は今の處鳥渡支那では禁物であるから馮も却々出掛けまい▲が其う云ふ事はチャーンと知つて居る張督軍が出征命令を馮に出すか出さぬか一寸面白い問題だ▲一時反目を傳へられた張馮の間だから何とも云へぬからナア▲滿蒙論者中錚々たる學者の松岡博士の論旨は滿蒙は法律上の領土ではないが勢力範圍の圏內で日本人が支那人を同化できぬ筈がない之れは日本人が滿蒙を外國だと考へてるからだと▲其處で我滿蒙發展は要するに滿蒙を我領土だと思ふにあるとは大に吾意を得た處である▲或人が英人は美味を美味として其儘食し佛人は美味をヨリ以上美味にして食はんとし獨人は美味を不味にして平氣で食ふ是が三國民の性格だと云ふ▲成る程ウマイ事を云つたものだ▲而うすれば日本人は何うして食ふのだらう聞きたいもんだ

元山

▲小學校長交迭　一時永興…▲鐵道と輸送　元山鐵道荷扱所最近…鑛石の特種の著荷を見ず而して…搬を圖り結果日々三千以內外荷の捨…▲大田在庫米…內地連絡貨物は新開開始以來今何…石を繼續するに至れり…に伴ひ通信機關の…▲郵便所移轉…溫泉の浴客增加…至るべし▲屠殺數　大田屠殺場に於ける七月中屠殺數は牛五十六頭…減をなしたり▲紀伊殖産引上　當地…紀伊殖産株式會社は龍山及び和歌山…

內科　小兒科　特に婦人科　淺川醫院
京城本町五丁目郵便所隣　午前宅診　午後往診
院長　正七位　淺川源一　電話一二三番

醫化學諸器械一式
藥種賣藥卸商
(K)　仁川本町　北島藥店　電話三三四・振替京城八六七番
京城本町永樂町角　北島藥店京城支店　電話七一一番

恩給年金　特別月利　立替壹圓　一般退隱料
大阪道頓堀大黑橋北詰　湊屋兩替店
京城南山町本願寺下　湊屋代理店

日韓書房　新版報告
梶山著　青年修養讀本　定價五十五錢　送料八錢
淺海著　勝海舟言行錄　定價三十錢　送料六錢
　著　一棒一喝　定價六十五錢　送料八錢
横山著　石雲　定價八十錢　送料八錢
鐵道院　鐵道旅行案內　定價一圓　送料十錢
京城南大門通二丁目　電話一四五番　振替口座一一五番

苦樂從運命生

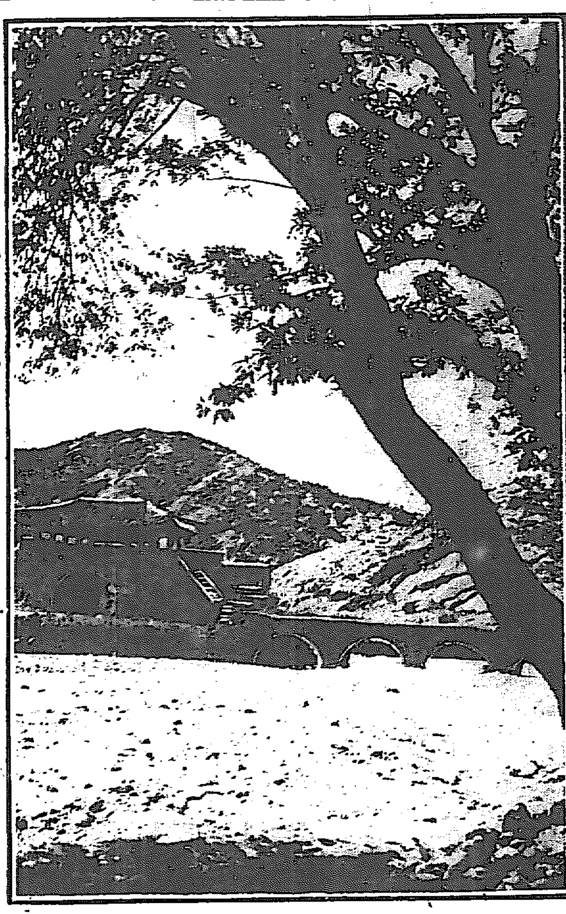
易界の名士
東京大日本陰陽學會總本部長　吉田學明師來る

大日本陰陽學會臨時出張所
京城壽町二丁目　原金旅館內　電話一一一九番

◇旗印苛性曹達其他藥品◇
小野田日本舍密製造株式會社製品
右會社製品は當社に於て朝鮮一手販賣權を有し居候ものに有之候處此頃日本舍密會社へ直接取引御申込ある向有之候へ共凡て御斷申上候に就ては多少に不拘當社に御引合被下度精々迅速廉價に御用命に應じ可申候
日本舍密製造株式會社製品朝鮮一手販賣　三井物産株式會社
京城支店　仁川出張所　釜山出張所　群山出張所

…れ同氏後任としては京城日の出尋常小學校訓導平岡一雄氏來任に決せり

…蕪等にして毎日二百四十噸乃至三百噸を算し到着貨物に在りては殺到し及しが昨今に至り同商會に於て鋭意進…圓を増したり組合員は二百三十四名…し居れり▲取立便廢止…郵便法改正…四日十五圓餘の實行を見たり▲鎮…月中旬移轉を爲し電信電話の工事に掛る筈なれば本月末には業務開始に…なき爲め貢數にて減じ又價格に於て…も農繁期を過ぎたるを以て一割方の…多きを以て同地に引上げ營業をなす由なるが引上期は未定なり


弘智門……北門外……

◉大熊を槍で突殺す
▽金剛山中の猛獸狩り物語△

金剛山に……から土地調査局で……やつてゐる、技術課の……部長は……十日ばかり其の巡視に費やして歸つて來た……氏の實驗談を聞く――

此の行金剛山の主な部分を踏破して來たが可なり酷い旅であつた、峻嶮險坂盤々として聳へ立つ金剛山系の地形測量に出てゐる局員二十餘名は毎日々々風起雨眠学を立てたやうな

岩山や大森林地

を終日驅け廻つてゐるが其の勞苦は大したものである、何しろ樹木の密生した所は深山幽谷多く殆んど人跡を絶つてゐる、其處には熊や猪やヌクテーの類が少なくない、局員は黑い大きな團まりの熊がヒョッコリと出現するのに度々出遭ふが、好い具合に何日も熊は自ら逃れ行くので未だ猛獸に咬まれた者は出ない、尤も局員は山に登ると此の危險を常に目前に控へてゐるから常時警戒を怠らぬ爲めもあらうと思はれた、恁んな事實を金剛山中

有名なる普賢洞

附近の百川里で聞いた、七月二十四日僕が其處を通り過ると一民家に生々しい大きな熊の皮を干してゐる、怎うしたのかと連れの憲兵に聞くと此邊は家畜の猛獸に咬殺される事が多い、三四日前百川里の一鮮人が薪を云ふ爲め近くの山に分け入ると小牛大の黑熊が中立ちになつて木立の中に造つた蜜蜂の巢を襲つてゐる、其邊には倘ほ蜜蜂の巢は多く見ゆるから件の鮮人は熊の姑らく去らざるを諭り早くも其の撃殺を目論み山中を韋駄天の如く走つて自宅に引返した、彼れは直ちに穗先の

鋭き二間柄の槍

を小脇に掻い込み又も宙を飛んで其の山中に分け入つた、見ると尚ほ黑熊は無數の蜜蜂に圍まれつゝ蜂蜜を摑んでは喰つてゐる、彼れは抜き足さし足近附けるだけ熊の背後に進み渾身の力を双腕に籠め稻妻の如く鋭く迷に熊の脅筋深く槍を投げて突き差した、此時熊は忽ち横になつたがすぐ又叫聲を殘しつゝ山奥に逃れ去つた、鮮人は其體跡を逐ふと手負ひ熊の爲め傷つけらるゝ事を恐れたから一應引返し翌日

熊の垂れた血を

辿りつゝ約半里も山奧に入つた所とある岩角に熊は槍を負ふた儘斃死して居たので五六名の仲間を伴ひ來り擔ぎ出した、何でも皮を見ると一つの小孔を脅に殘すのみで立派だつた、槍一突きで熊を殺すと云ふのは餘程珍らしい事で、皮の幅と長さから見れば優に四十貫を超へた大熊だつたらうと思はれる、此の話に附け加へて其の憲兵は銃を擕さへ山に猛獸を狩る事は珍らしくないとも語つてゐた、末輝里の附近に三菱で經營してゐる重石鑛區がある、其の鑛區では石を割るダイナマイトの響きが絶へぬから夫れを恐れて此邊の猛獸野獸は漸次

西南部の金剛山

の方に入り込んで行くらしいと云ふ話しも聞いた、それでも末輝里では矢張り家畜がよく咬み殺される、僕の行つた少し前も憲兵出張所の附近で牛が頸の背と其他の部分を少し殘した限りで喰はれてゐた里人は足跡より察して虎に相違なしと云つてたさうだが多分其れはヌクテーの群れの襲來だらうと云ふ、尤も恁う云ふと金剛山は猛獸ばかりで採勝には危くて行けぬと思ふ人もあらうが當遊採勝者の往來する道の兩側には猛獸は決して近寄らぬ、近寄つても

人の影を見ると

逃れ去るから左うした懸念は無用である、唯何等かの目的を有し更に山中深く分け入る人は相當警戒を要する譯だ、私は金剛山中最も高い毘盧峰にも登つた、高山植物の花が紅紫とり/\に咲き亂れてゐる、此路で僕は山食を使つた、すると綺麗な鳥や果鼠が人怯ぢもせずチョロ/\と僕の膝の上を飛んだり降りたりする、其の山頂から展望した四方の大景は素より遠く俗塵を離れてゐた

◉天龍峽御探勝
北白川宮殿下の御微行

野砲兵第三聯隊中隊長の職に在らせらるゝ北白川宮殿下には嘗て天龍峽を探勝し給ふべく二荒上野兩伯其他四名の陪員を從へさせられ四日午前八時二十六分名古屋驛發列車にて御出發信州に向はせられ同日午後三時二十分中央線三留野驛に御着其れより人力車にて大平峠の峻險を越ゐさせられ午後七時半飯田町に入り御旅館蕉梧室に御投宿あり五日午前五時御出發同七時下伊那郡龍丘村時又乘船場より二艘の小舟にて天龍峽を御下航あり夕刻遠州二俣に御上陸鐵道にて濱松に出でさせられ更に名古屋に御歸還の筈（東京電話）

先生から 生徒諸君へ
暑中休暇中の ―2―

○暑中休暇の意義は必ずしも暑くて授業が出來ぬから休むと云ふばかりではない、此の休暇は學業に取つて自己の休養であり又平常と異つた方面の修養の爲めであるから勿論休養は其の主なる處であるが、徒らに形式に泥んで行動の自由を束縛したり又溌剌たる小供心を拘束する事も程度を越えぬ事は考へものであります

○要するに樂しんで淫せず、和儀を亂したり敎へられた學科を忘れたりしない程度で宜しいでせう、そうでないと暑中休暇は子供に取つて却つて身心の負担を重くさせる如うな事に陥りはしないでせうか

○涼い地方の休暇として淸津小學校長の談に

◆此地方は◆ 盛夏の頃と申しても左程暑さが酷くありませんから從つて暑中休暇も八月一日から二十一日迄の二十日間として居ります、此の二十日の休みをどんな風に送るかと申しますに先づ第一に毎日午後から

◆生徒一同◆ は職員監督の下に輸城が濱で海水浴を行ひます七難かしい規則よりも先づ健康を保持し增進するといふ事は暑中休み中の第一の眼目であります毎日午前中は學科の復習と學校農園の手入とをして居ります

◆却々愉快◆ であります、猶此の外に一日と十五日とは午前六時に淸津神社前に集り禮拜した後精神修養の爲め講話をいたします、休み中の心得の重なるものは父母の言付をよく守り兄弟姉妹は仲をよくしお復習を怠らず

◆食べ物は◆ なるべく煮たものを喰べる事其他衛生清潔法などに關した事であります

○又自由研究の好模範として公立仁川商業學校長高山經慶氏の談に曰く

◆私の學校◆ には現在百六十名の生徒が居るが其中十名内外は仁川の者で他は悉く各地から通學して居る生徒だから他校の樣に暑中休暇中集合させる樣な事は出來ないそれで毎年暑中休み中に三年生には朝鮮に於ける

◆經濟事情◆ 特に金融組合銀行水利組合の事業に關する調査を命じ二年生には同じく風俗婚姻或は迷信に關する樣な朝鮮固有の事情を調査する事を課し一年生には朝鮮に於ける製造工業に關する事柄を調べさせる又此外には

◆休暇日誌◆ 及び簿記數學等を宿題として與へてある丁度他校に於ける卒業論文の樣なものである夫れから此外に朝鮮在來の數の起源などを調査させてある斯くの如く私の學校では暑中休暇を利用して可成自修的の仕事に從事させる方針を取つて居る

◉英人殺捕縛說

輕井澤に於ける英人宣敎師殺害犯人は捕縛されしとの說あり（東京電話）

◉花嫁に嫌はる
▽夫婦同居の請求訴訟

京城西小門町居住支那人木工李振盛（三一）は其妻竹添町三丁目居住の朝鮮人朴元林（二）を相手取り夫婦同居の請求訴訟を京城地方法院に提起したり李振盛の請求要旨に依れば朴元林は振盛が出稼ぎ不在中七月九日夜逃走して行衛不明となりたれば警察署に同人の搜索を依賴したる結果所在を突き止め以前の如く同居を求めしも拒絶されたるを以て今回の訴訟に及びたる由大正二年四月中李子洞居住の尹昌烈の媒介にて當時生活難の爲め母の命に依り資産ありと稱する李振盛に嫁したるものなるが之れが結婚費六十圓も朴元林の母より支出したる程にて資産ありとは全然虛僞なりしこと判明したるも詮方なき儘朴元林は髪の結ひ方著衣迄支那風に改め支那婦人となりて濟まし同棲し兩人間には現在三才なる幼兒あり朴元林の兩親、實母の兩人も加はりて支那合同の一家庭を作り居りしも常に風波絶えざる如きに元林は夫が餘りに年上にして支那人なるを嫌ひて別居せしものゝ如し右につき八月一日京城地方法院にて第一回口頭辯論ありしも引續き審理中

◉三千餘圓の訴訟

京城太平町一丁目居住伊藤治平は永井辯護士を訴訟代理人と定め全北任實郡任實面二道里農李相源を相手取り貸金三千七十五圓の請求訴訟を京城地方法院に提起せり原告の主張要旨に依れば李和源は大正三年中任實面所在の田及び水田二百七十七斗五升落を抵當となし韓民濟なる者を仲介として原告に金五千圓の貸與方を申込み來りたれば之れを應諾し現金五百圓を交付したる後李和源韓民濟の兩人間に貸借關係より紛爭を惹起し其結果韓民濟が其筋に告訴したるより李和源は拘禁せらるゝに至り結局李和源より損害額を韓民濟に支拂ふこととなり釋放せられたり然るに兩名は其の前記抵當地所に更に水田二百三十斗餘斗落を增加し倘京城大門內所在の家屋を加へ合計八千圓の貸與方を原告に申込みたるに之れに應じ其間數回に前記請求金額の全部を交付したるに李和源は僅かに借金關係ある一抵當の一部なる東大門內所在の家屋は他の者より數萬圓に附せられ是れがため原告は二千十圓の損害を蒙りたるより原告は李和源の實家なる全北任實面に赴き右物件を引渡せよと嚴談したるも言を左右に托して之に應ぜず遂に契約の實行を拒絶する旨の通知を受けたるより右の訴訟に及びたるものなりと目下引續き審理中

◉白晝强盜 小岡子北泰公街野

菜行商李昌周（二七）が一日午前十一時半頃平和街小岡子市場東側街路を行商中後方より來りたる二名の支那人突然李の兩手を捕へ李が驚きて振放さんとせる時左手を捕へたる一名は素早く李の衣嚢に手を入れて日本銀貨九十錢支那銀二十錢在中の財布を奪ひ取り李を突倒して逃走したるより李は強盜々々と大聲に叫びて內一名を追跡したるを折柄街行中なりし刑事巡査も續いて追跡し賊が馬家溝の商埠端に入りて追掛ける程に賊ぞ形勢を示したるも屈せず追迫して午後一時頃黃家屯の商埠端中にて格鬪の末逮捕したり取調への結果

◉馬賊に擊たる

去月三十一日午後四時十分頃撫順老虎臺坑事務所より苦力頭劉某が金一千二百餘圓を受取り部下の苦力に配布すべく宿舍に歸る途中突然拳銃を以て馬賊に狙擊され右の賃金全部を奪ひ取られ馬賊は其まゝ何處へか逃亡したるが被害者は現場に重傷を負ひて絕命し居るを發見し急報に接したる坑外取締、警務支署、守備隊等出動し大搜査を開始したるも同日午後五時迄には未だ手懸りを得ず引續き搜査中なりと（大連）

此奴は岩代町貧聚樓止宿自稱革命黨員沙志方（三五）にて今一名は同宿者なる順天府人徐志花（二五）なる旨自狀したれば更に百方に手を分けて搜査の末午後八時頃歸宿せる處を逮捕せり（大連）

◉高山の探檢團

南朝鮮の一大山脈として其名高き智異山巓は實に海拔六千三百尺を算し鬱蒼たる大森林を形成し古來甞て山中に足跡を印したるものなしと稱せられ居れるが此の靈境を踏破すべく全北道林務係にて探檢團を組織計畫中なるが何人も加入差支なしとなり

◉井戸に墜つ 京畿道始興郡

北面九老里朴仁煥妻梁在鳳（一七）は七月二十九日午後六時頃自宅附近の共同井戸にて水を汲み居れる內足を辷らして眞逆樣に墜落して溺死せるを里民が發見し永登浦署より係官出張檢視せり

◉故津輕伯追悼會 在京城青森縣人會にては來る七日故津輕承昭伯三周日に相當するを以て同日午後五時より若草町曹洞宗別院に於て追悼會を催ふす由

◉前數會長百日祭 永樂町佐光數會所にては六日午後八時半より前數會長故荻野權少教正の百日祭を執行し南大門、龍山、仁川、各敎會長も參列信徒の玉串奉獻等ある由

先年釋宗演禪師が歐米の巡錫を了へて歸朝すると野田、大石、朝吹、早川、大岡、益富の諸名士が發起となり…合所に毎月一回の碧巖會を開催したことがある▲それ以來全國に禪風の擧揚したことは非常なもので禪師は諸方からの招聘に席温まる暇もなき有樣▲其の提唱されたる碧巖の講義は既に一部の書物となつて居る▲今回東京では老師の大患快癒を祝し且つ碧巖會の拾週年を記念する爲め大會を開催するといふ▲然るに京城でも老師の法孫に當る後藤瑞巖師が在つて大に禪風の發揚に努めて居らるゝが▲近日有志の人々が毎日一回の碧巖會を開催す相談▲過日立花師團長、白水憲兵長、芳賀院長、野田東拓副總裁、東拓、鮮銀各理事、秋山參事官、持地土木局長、森安博士、岡部本社長等發起となり二十一日第二土曜日午後四時より碧巖會開催のことに決したり會場は黃金町貴族會館にて毎會妙心寺住職後藤瑞巖老師の提唱ある筈

―運動欄―

▲遞信鐵道野球仕合 遞信俱樂部對鐵道俱樂部の野球仕合は六日午前九時より訓練院にて舉行の豫定なり

▲遞信倭城臺野球仕合 遞信俱樂部對倭城臺俱樂部の野球仕合は六日午後四時より開始の筈

▲講座の勸進帳 ……

▲黄金館 ……

▲大正館 ……

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

○孝行の眞似でもよいと母は泣き　江原道金化郡陸石里　四日入道（一等）

川柳『眞似』

▲眞似事は習慣の始て行き止り　京城　紫流
▲小鬪は兎角鉛に眞似たがり　京城　雲溪
▲大石が腹切る眞似で腹を抜く　新夢　角野生
▲賢人の中に愚人の眞似が居り　龍山　如平
▲眞似上手いつも解散に引込れ　牙山　松籟
▲猿の眞似油が乘て木から落ち　釜山　靜枝

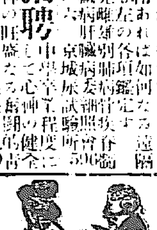
▲物は付『苦しいもの』　締切五日　發表七日
▲一口噺『幽霊』　同六日　同八日
▲冊めえ　同七日　同九日
▲謎『西瓜と掛けて』　同八日　同十日
▲狂歌『汽車』　同九日　同十一日
▲俗謠『行水』　同十日　同十二日
▲次回川柳『目』　同十一日　同十三日

■募集規程 ▲川柳は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲附賞は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一圓二句以內の事▲此規程に適はぬものは沒書

京日案內
普通（一回前金三十錢 一行五號活字 一回毎に金五錢增）
番外（同上 匿名一回每に金五錢）

配達人數名至急募集す希望者は本人來談あれ但し市內確實なる保證人を要す 明治町 町田新聞舖 504
○古本高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 500
▼古本雜誌高價買受 …… 580
●本町二丁目 ●電話…… 建築に經驗ある者入用 …… 503
第一回支那語講習會…… 507
……先行列車に聯絡す
▲荒州自働車……
●製糸工女募集 經驗ある者も主義入用 來談あれ 京城東大門外京城製糸所 561
東京尺八講習會發行川本逕童先生作 尺八音譜新著 目錄往復 本町 嚴松堂 505
內科 小兒科 大和町一丁目 爲春堂醫院 508
內科 外科 入院 松岡醫院 507
眼科 泌尿 …… 596
記者招聘 …… 京城太平通 …… 590
分析 礦物各種 坂元分析所 523
廣橋自働車 南大門通 …… 592
凉シイ布引 …… 509
玄米乳 京城北米倉町 玄米製乳舍 542
鑛物分析 鑛山測量 金石商會 559
恩給年金 國江商會 570
即時取引退隱料一切 博多屋本店 572
勸業債券高價買入 京城府太平通 …… 578
恩給年金 山口屋 586

造花生花花環寄贈品 葬具一式 大葬社 電話一〇五六番
京城葬儀社 中河原重吉 井上芳太郎 電話九五七番
養父長岡圭齋儀今朝病死致候葬儀ハ七日午後一時若草町曹洞宗寺院にて執行可致此段知友諸君に謹告候也 八月五日 富谷眞
葬儀請負 供花御寄贈品一式 京城本町二丁目 朝鮮葬儀社 電話五六二番
灸術專門 東京 万平灸 京城本町三丁目 浄土宗開教院入口
はりきう 諸病治療 鍼術專門 日影 京城旭町三 電話二七七番
新刊書御案內 大阪屋號書店 京城本町電話二〇八六 振替京城二五七三
●世間學 ●朝鮮之金融 ●農家經濟の實際 ●外交の告白 ●明治千五百年史 ●西鶴文粹 ●趣味を求めて ●ロマンス太刀 ●日本文學 ●鐵道旅行案內 ●朝鮮金剛山遊覽の栞 ●尺文自在 ●英語手紙 ●書翰文章 ●詩學 ●美文と紀行文 ●大少年傑作文 ●通俗作文上達法 ●尚兒 ●動物の話 ●東京見物



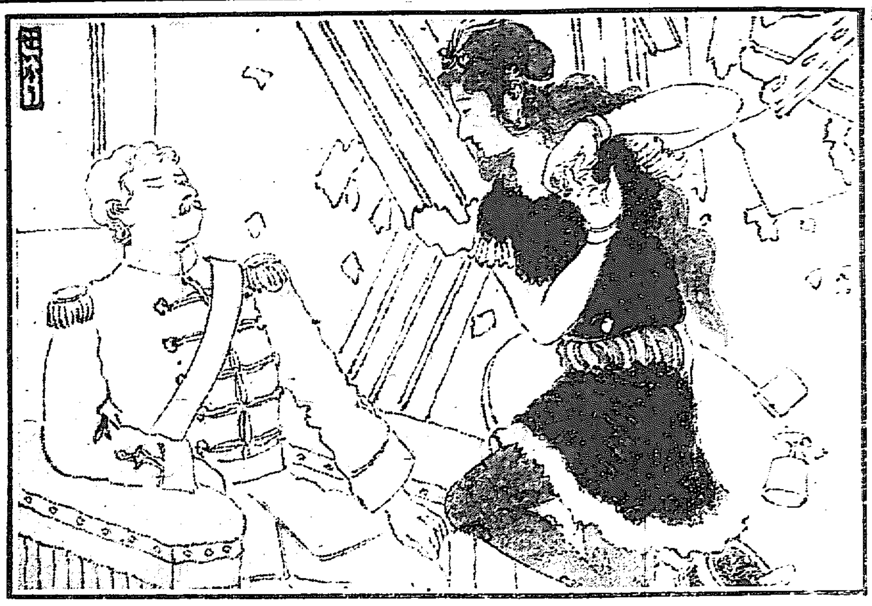
女鵜

渡邊默禪

［六六］呪の雪

士官のボルナパは舞臺の眞中まで來て、

『あゝとう〳〵戰は敗れた。王さまは虜になりさうだし、自分はやつと圍を破つて此處まで逃げて來たけれども、彈創は疼むし、空腹くはなるし、疲れはするし、最う一歩も行くことが能きぬ、日が暮れないうちに何處ぞ宿を求めたいものだが―』



といつたやうな意味の唄を悲しさうに聞かせる。其處へ出て來るのが露西亞の田舍娘に打扮つた秀子で、

『おゝ、旅人よ。此の雪の日にどうしてこんな片田舍を徘徊するのである。なに負傷者とや、それは嘸かしお困りであらう。世は情、神さまの慈悲の前には敵も味方も無差別である。むさくるしくとも宜しければ私の住家へ』

と唄つて、慰めながら自分の家へ連れて行く。行つて見ると其處が古い城趾で、大理石の圓い柱や彫刻の裝飾や壁畫や、目を愕かすばかりの宏壯な宮殿だつた。ボルナパは虎の皮の寢椅子に横たはつて、火爐にあたり始めた。娘は古い葡萄酒と、パンとさうして炙肉とを持つて來た。

ボルナパは快く二三杯を傾けた。娘はこの客をもてなす爲に、歌つたり踊つたりした。ボルナパは洗然とした心持で見とれてゐた。歌はだん〳〵急調になつた、聲は怒れるやうに顫ゐて來た。娘の眉は逆立つた。舞は物狂はしい調子になつて、荒れの渦巻くやうに眼の前を去つたり來たりした、その聲と姿とに魅せられてゐた。ボルナパはふと氣がついて手元にある葡萄酒を取らうとする。

こはそも怎に、杯盞はひたと机に凍りついてゐる。酒も氷になつてゐる。パンと肉とを取つて食はうとすると、是もいつしか堅い氷に變つてゐた。愕いて立たうとすると自分の腰を卸した椅子も氷なら、虎の皮も氷、自分の體さへ足の爪先から凍ゐて來て見る〳〵白蠟のやうに冷たく〳〵結氷してゆく。柱も氷と化け、壁畫も彫刻像もみんな白くなつて、もう氷でないものは無くなつた。娘の著てゐた黑天鵞絨の衣もいつの間にか雪の樣なダンスドレスになつて頭も頸も水晶のかざりでから〳〵と鳴る。

『覺ねてゐたか、覺ねてゐたか。戀の仇、情の讐、今こそ思ひ知らせる、思ひ知らせるぞ』

頓てこんな意味の呪の歌に移つて踊る、激しく踊る。その足拍子につれて氷の宮殿は一時にがら〳〵と崩れて了ふ。と、娘は凄く笑つて

『あな嬉し、世は我が物となりにけり。いざやいざ、呪ひつとけん、あはれ美しの魔の國よ。いみじき花の香よ。かくして仇を滅さめ。肉も骨も皆氷るまで。氷るまでオツホツホハツハツハ』

急にゆるやかな舞の手振に移つて呪も緩く緩く餘韻をひく。と見る間にその姿は消えて、忽ち雪の曠野となり、棄てられたボルナパの死骸ばかりが眞白になつて殘る。

これは千八百十二年の露佛戰爭當時佛の一士官が露人の娘に戀してさん〳〵その節操を弄んだ末に、殘酷らしい取扱ひをして棄て了つたのを娘が怨み、死んでからその靈が娘になつて、モスコーの敗戰に落ちて來たところを呪ひ殺すといふ脚であつて、秀子が何の氣もつかずに題を撰んで踊いたといふことが偶然とはいひながら實に不思議な暗示である。

彼女の心持もその通りだつた。父を知つた彼女が其の父を戀の敗北から始めて踊いた話によつて、兵士者にして死ぬほどの痛手を負はせた者にして、哀れな戀の犧牲者になつたことゝ、つれなく振棄てゝ涙の谷に落したことを皆遣りの父の罪だと思ひ始めて、その復讐をなすことが自分の大なる事業だと決心した今宵、この雪の呪の主人公に扮したのであるから、その氣込もまた尋常でなかつた。

日本一 宮内省御用 マルカン印 最上清酒 電話二四一番 日本醤油株式會社 京城出張所 京城太平通二丁目

入院隨時 旭町一丁目十三番地 内科小兒科 若槻醫院 電話二四六二番 ドクトルメヂチーネ 若槻覺隆

新刊紹介

▲海紅（八月號）碧梧桐の俳句雜誌にして…句滿載（二十四錢東京下谷上根岸七四海紅社）
▲黑友（八月號）三錢東京市小石川區番川町一五二二三番
▲時代評論（八月號）十錢神戸市下山手通七の三八 其社
▲ゼ、ユース（八月號）十二錢東京市麴町內幸町一ロナベン、ダイムス學生誌出版所
▲安東縣商業會議所月報（五月）定價不詳 同會議所
▲英語の日本（九の一四）十二錢東京市神田區裏神保町三社文館
▲ローマジ（一一の八）十二錢東京市麴町有樂町一の三其ひろめ會
▲勝友（八月號）淨土宗の布教機關誌にして久松不買庵の満足の生活鈴木文助の念佛の家的考察等（五錢京城本町三の五）淨土宗青年本部

サクラビール景品付當籤番號發表

▶景品番號はイ號よりオ號迄の各十二組に共通す◀

先般來サクラビール景品附大賣出開始以來江湖各位の深厚なる御後援により空前の盛況を呈し豫期以上の好果を以て一昨三日京城商業會議所樓上に於て警官新聞記者及各地特約店主立會の上公明正大に抽籤の結果左記の通り當籤致候間此段及廣告候也

●甲種番號表

▲一等 金時計（ウオルサム十八金）一個宛十二本 金八十圓
二六八三

▲二等 婦人持金時計 一個宛十二本 金五十圓
一二三八

▲三等 長濱白縮緬 一筋宛廿四本 金二十圓
一四二八 一五六四

▲四等 勸業債券 金五圓宛 六十本
四三六 六六七 一七一六 二〇二七 三八二三

▲五等 腰提搭貨入 金一圓五十錢宛 二百四十本
七七 二〇二 二八九 三八五 四八一 六二四
一一三七 一一四一 一五三七 一七五七 一八三二 二三四〇
二九四六 三〇六五 三一四七 三二〇〇 三四二九 三五四八
三七六二 三七八五

▲六等 櫻ビール一本宛 四千八百本

一一
五五五五五五五五五五四四四四四四四四三三三三三三三三三三二二二二二二二二二二一一
八八六四四四三二一一七七七七六三一〇九四四三三三二二〇〇六六五三三二一〇〇七四九七六六五五一
三二九七六三三〇六四四三一〇四一〇一七六二七五一九四八五八七八九七三二九五九二一一三一五〇七六

一一
〇〇九九九九九九九九九九九九八八八八八八八八八八八七七七七七七七六六六六六六六六六六六五五五
〇〇八七六六四四四二二一〇〇九九五四四四二二一〇〇九五五三三一一八八七六六五四四四四一〇九九九
九五七二八一八七四五四三四一七一四九七〇五二四二一三八四八〇八一七二六二〇〇八六五二二九四三一

一一一
四四四四四三三三三三三三三三三三二二二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一〇〇〇〇〇〇〇
六五四一〇九九五五五四四三三二〇〇七七七六六三二一〇九八七七六六五四四三三一〇〇九八七三二二一
四〇八七三八三九八四七五二一一九八五四三五一四一六六六七三二八一四六二五一八四〇七七〇五七一三

一一一
九九九九九九八八八八八八八八八八八八七七七七七七七七七七七七七七六六六六六六六六五五五五五五五五五五四四四
五五四四二二七六六六五五四四四四三一〇九八六五五五五四三二一五五三三三三二一〇八五五四三二一一一〇〇九八七
八七七三四二七五四一四一八六三〇七三一〇五〇九四三一七〇五七八二九八二一五六六六五三九〇六八五〇七三三四一

二二二一一
五五五四四四四四四四四四四四四四四四四三三三三三三三三三二二二二二二二二一一一一〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇九九
三三〇九八七七六六五五五五四三三三二二〇九八八七六四三〇八七五五〇〇〇四四三三一七六六三二二二二一一〇九六
九二五四三六〇七六九五三二四七五二五二六一三〇九七八六七一八六二六三一五一六三三五八四六九八六三四〇五六四

三三三三三三三三三三二二二
一一〇〇〇〇〇〇〇〇九九九九九九九九九八八八八八八八八八八八八七七七七七七六六六六六六六六六六六五五五五
二一六四三三一一〇〇九九九八七五三一〇九八八六五四三三一一一八七六五三〇八七六六六四四三三三二一〇九八七五
五七〇八七六六一三一六二一二二二九一〇六七一五九一三一七四〇八一四六三三八三八五一七一九四三八八〇四八二五

三三三
六六六五五五五五五五四四四四四四四四三三三三三三三三三三三二二二二二二二二二二二一一一一一一一一一一一
三二一八八七四三三一一七五四四四三〇〇九九八六五四四四三二二一〇九八八八七六六五五四三三二一一一八八七五四三三
二五二四〇七四五四八九七九三〇四六〇九一七二〇七六五二五二〇三〇八二一三六〇六一〇三〇九三二八二七四四八四

四三三
〇九九九九九九九九九九九九九八八八八八八八八八八八八八八七七七七七七七七七六六六六六六六六六六
〇八六六六六五五四四四三二〇九九八八七六四二一一〇〇〇〇九七七六六二二二〇九九九八七七六六五四
〇六七五三〇九二八六一一二五八六五七二一三九二三〇九七四一八八五四〇七五〇四八四二一三〇四一〇九

番外殘數全部は九等しらぎ又は朝日壹袋宛 四萬二千八百五十二本

●乙種番號表

▲一等 勸業債券 金八十圓 一本
一六七九

▲二等 自轉車 金五十圓 三本
二一三九 八二五八 八八八九

▲三等 商品切手 金二十圓 六本
一〇七六 六四八一 七五六三 九八〇一 一〇三一四 一〇五五八

▲四等 貯蓄債券 金五圓宛 二十五本
一〇〇三 一六八四 一七五〇 二一八九
三〇〇四 三六七四 四一二〇 四二六五
四八九七 五三〇八 六〇二〇 六〇五〇
六七五四 六八五二 七三八八 七五六〇
七四九四 八五六五 九一八二 九五五一
一〇一五七 一〇一八三 一〇二〇二
一一〇六八 一一五五八

▲五等 裏地一反宛
六六 七四四 一五五九 二一八〇 二六四三 三〇五二 三五〇一 四〇七六 四八一六 五八一八 六〇五一 六四三八 六九一九 七一二六 七六八七 八〇二五 八八二六 九六二一 一〇一四六 一〇八五四 一一二八一 一一六二四 一一九八二
一九九 九二九 一六三〇 二一九七 二六五〇 三〇七八 三六一一 四一九二 五一二〇 五八八〇 六〇五七 六七〇六 六九二一 七一二八 七七五七 八〇二九 八九〇五 九六七九 一〇二六六 一〇九一六 一一二九一 一一六四九 一一九九六
三五八 九七一 一六三九 二三一五 二九六七 三一七一 三七七〇 四四六五 五四〇八 五八九〇 六一八二 六七四六 六九九〇 七一二九 七八六七 八五三〇 九四三六 九六九〇 一〇四八七 一一〇二八 一一二四二 一一七九〇 一一九九八
四二三 一〇二三 一九〇二 二五六六 二九八三 三三一三 四〇三一 四六八四 五四四五 五九六七 六二八七 六七四一 七〇五七 七一五八 七九一四 八五六〇 九四四五 九七〇五 一〇五二四 一一一三六 一一四九六 一一九三四
五六二 一二五六 二〇二五 二六一一 三〇四五 三四九二 四〇五四 四七九一 五五五一 六〇四九 六三四五 六九一〇 七一二二 七二五三 七九四二 八五九七 九五四五 九七六三 一〇六九二 一一一九七 一一五八五 一一九四五

以下番外は六等口付煙草朝日又はしらぎ一袋宛一萬千八百五十本

■景品引換場所
朝鮮全道及安東縣各特約店

■景品引換期間
八月五日より八月三十一日迄

京城通り南大門二丁目 神戸 合名會社 鈴木商店 京城出張所 電話二九二・二四〇番